

福生 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科： 国語 科目： 現代の国語 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書： （ 現代の国語改訂版（出版社：大修館書店） ）

教科 国語

の目標：

- 【知識及び技能】
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 【学びに向かう力、人間性等】

生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようになる。
 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 現代の国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
水の東西 【知識・技能】 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。	叙述を的確にとらえる。 具体と抽象を理解し、文章の要点を的確にとらえる。	○水を「造型する／しない」という対比が日本と西洋の水のとらえ方の違いに結びつくことを理解している。 ○水が目に見える／見えない」という対比が「鹿おどし」の特徴に結びつくことを理解している。 ○日本と西洋の水のとらえ方にどのような違いがあるかを理解している。 ○鹿おどしが「日本人が水を鑑賞する行為の極致を表わす仕掛け」といえる理由を理解している。	○	○	○	6
発想を広げる 【知識・技能】 ・出されたアイディアのそれぞれの関係を理解している。 【思考・判断・表現】 ・「話すこと・聞くこと」において、様々な観点から情報を整理し、内容を検討している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・アイディアを出したり表現したりすることを通して、アイディア同士の関係をふまえた様々な観点から粘り強く検討して発想をさらに広げる中で、自らの学習を調整しようとしている。	他者と意見を交流し、アイディアを出し合う。 アイディアを整理し、さらに発想を広げる。	○出されたアイディアの関係について、おおむね理解している。 ○出されたアイディアについて整理するために、おおむね適切な観点を設定している。 ○アイディアを出す上で観点を設定し整理することの重要性を認識し、今後の言語生活に活かそうとしている。	○	○	○	3
意見を書く 【知識及び技能】 ・文例および自分の作文において主張と根拠とを指摘できている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「書くこと」において、論理展開を工夫し、読み手が理解しやすい文章が書けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意見文の相互評価および単元の総括をととして、学習の状況を積極的に把握しようとしている。	構成や展開を意識して文章を書く。 根拠を明確にして、自分の意見を書く。	○文例の中から主張および根拠といえる情報を指摘している。自分の作文では根拠に不足があるものの、主張は明示している。 ○理解のしやすさについて、大きな欠陥がない構成を作文に実現している。 ○ワークシートの「反省」の記述および単元総括のノートの記述を、活動の趣旨に沿ったものにしようとしている。	○	○	○	3
プラスチック汚染からは逃れられない 【知識及び技能】 ・文例および自分の作文において主張と根拠とを指摘できている。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「書くこと」において、論理展開を工夫し、読み手が理解しやすい文章が書けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意見文の相互評価および単元の総括をととして、学習の状況を積極的に把握しようとしている。	構成や展開を意識して文章を書く。 根拠を明確にして、自分の意見を書く。	○文例の中から主張および根拠といえる情報を指摘している。自分の作文では根拠に不足があるものの、主張は明示している。 ○本文の前提と後段における推論の型を理解している。 ○理解のしやすさについて、大きな欠陥がない構成を作文に実現している。 ○ワークシートの「反省」の記述および単元総括のノートの記述を、活動の趣旨に沿ったものにしようとしている。	○	○	○	5
定期考査・テスト返却			○	○		2
人間と自然の関係を通して考える 【知識・技能】 ・主張と論拠などの情報と情報の関係や、推論のしかたについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・本文における情報の関係に注意しながら、内容や論理展開についての確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論理的な文章を読むことを通じて、情報の関係や推論のしかたに注意しながら内容や展開を把握することに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。	主張と根拠、理由づけの関係に着目し、論理展開をとらえる。	○本文中の主張と根拠の関係を理解している。 ○本文の前提と後段における推論の型を理解している。 ○本文における情報の関係に注意しながら、内容や展開をとらえている。 ○論理展開を把握する際に何が重要であるかを考えようとしている。	○	○	○	4
「安くておいしい国」の限界 【知識・技能】 ・文章と図表の情報がどのような対応関係にあるかを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「話すこと」において文章や図表などに含まれている情報を相互に関連づけながら内容を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・図表を伴う文章を読むことを通じて、それぞれの情報を相互に関連づけて内容を粘り強く解釈し、自分の意見を深める中で、自らの学習を調整しようとしている。	資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。	○文章の記述と図表の内容がどのように対応しているかを理解している。 ○文章と図表の情報の対応関係を検討し、内容を解釈している。 ○内容について自分の考えをもち、深めている。 ○図表を伴う文章を読む際に重要な点を考えようとしている。	○	○	○	4
インターネット時代の音楽産業 【知識・技能】 ・本文における主張と根拠の資料との関係について理解できている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、本文の構成に注意して読み、資料援用の意図を解釈できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・単元のねらいを理解し、主体的に学習活動に取り組んでいる。	資料と文章の関係に注意して、情報を読み取る。	○グラフが主張の根拠を示す資料として援用されていることを理解している。 ○一般的に文章にグラフが援用される意図について想定できる。 ○学習課題に沿って自分の考えをノートに整理しようとしている。	○	○	○	4
定期考査・テスト返却			○	○		2
統計資料を基に意見を書く 【知識・技能】 ・根拠として統計資料を引用することの必要性を理解している。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、主張を支える根拠として統計資料から適切な情報を抽出できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・意見文の振り返りおよび単元の総括をととして、学習の状況を積極的に把握しようとしている。	統計資料を正確に読み取り、読み取った情報を組み合わせたり、比較したりして、的確な主張を生み出す。 統計資料を根拠として、自分の主張を書く。	○根拠として統計資料を引用することの必要性について、授業者の解説をふまえてまとめられる。 ○統計資料から抽出した情報の客観性、また根拠と主張との結びつきが、それぞれ不完全ながらも確認できる。 ○諸学習活動に対して積極的に取り組もうとしている。また、ワークシートの記述内容が活動の趣旨に沿ったものになっている。	○	○	○	5
発表 【知識及び技能】 ・伝達する際に必要な情報を抽出することができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「書くこと」において、主張を支える根拠を提示できている。 ・「話すこと」において、自分の主張を周囲に伝えることができている。 ・「聞くこと」において、相手の主張を聞いて理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の主張を伝えようとする時、相手の主張を聞こうとする姿勢がみられる。	学習した内容からもった自分の感想や主張を書き、周囲に伝える。	○根拠を提示することの必要性について理解したうえでまとめられている。 ○資料から抽出した情報の客観性、また根拠と主張との結びつきが、それぞれ不完全ながらも確認できる。 ○諸学習活動に対して積極的に取り組もうとしている。また、ワークシートの記述内容が活動の趣旨に沿ったものになっている。	○	○	○	3

2 学 期	<p>他者を理解すること</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の情報と一般化された情報とを具体化したりして ・「書くこと」において、目的達成のために媒体の特徴を生かした表現を考 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、質問をしつつ論理展開を予想しながら相手の回答を聞き、聞き取った情報を整理している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・得られる情報や効果を実感しながら質問をしつつ、自分自身の質問の仕方について積極的に振り返ろうとしている。 	<p>質問の目的を明確にする。</p> <p>目的に沿った質問をして知りたかったことへの理解を深める。</p>	<p>○インタビュー時に、相手の話を一般化し、抽象的な回答を具体的に掘り下げられる。</p> <p>○不足している情報を考えながら回答を聞き、質問することでその情報を得られる。</p> <p>○質問によって得られる情報と、質問をすることで相手に与える効果を考えようとしている。</p>	○	○	○	2
	<p>状況に応じた通信文を書く</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信文に適した語彙を身につけ、使いこなしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、目的達成のために媒体の特徴を生かした表現を考 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・媒体ごとの体裁/特徴や適切な語彙を理解した上で、読み手の目線から最 	<p>通信文の基本的なルールを知る。</p> <p>相手や場面に適した通信文を書く。</p>	<p>○一般的に使用される時候の挨拶や格調高い表現などを積極的に取り入れて通信文を作成できる。</p> <p>○便箋の手紙、メール、案内状それぞれの体裁にのって通信文を作成できる。</p> <p>○手書きの手紙のつあたたかみや、案内状の格調高さ、メールの親しみやすさなどを理解した上</p> <p>で、伝えたい内容や言葉遣いを考えて表現できる。</p> <p>○媒体ごとの特徴や通信文に適した語彙を理解し、積極的に用いようとしている。</p> <p>○相互評価において、読み手目線での印象を伝えようとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>「美しさの発見」について</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえ 	<p>複数の文章を比較し、共通点や相違</p> <p>点をとらえる。</p>	<p>○筆者の主張と、筆者の示す具体例との関係を理解している。</p> <p>○筆者の述べる「美しさ」についての二つの考え方を理解している。</p> <p>○「脳は美をどう感じるか」とあわせて読み、「美しさ」についての両者の主張を理解している。</p> <p>○複数の文章から、情報を読み取ろうとしている。</p>	○	○	○	7
	定期考査・テスト返却			○	○		2
	<p>空気を読む</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえ 	<p>複数の文章を比較し、共通点や相違</p> <p>点をとらえる。</p>	<p>○筆者の主張と、筆者の示す具体例との関係を理解している。</p> <p>○筆者の述べる「空気を読む」ことの現状と問題点について理解している。</p> <p>○「『個人』から『分人』へ」とあわせて読み、「人と人とのコミュニケーション」についての両</p> <p>者の主張を理解している。</p> <p>○複数の文章や資料から、情報を読み取ろうとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>説得力のある資料を作る</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、自分の考えやことがらを的確に伝えるよう、根拠 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に、課題に沿った「提案に必要な要素」を挙げようとしている。 	<p>提案を検討する際に必要な要素を採</p> <p>り入れる。</p>	<p>○提案する相手やねらいに応じた語句や表記のしかたを選んで企画書を作成している。</p> <p>○提案する内容と想定される結果を、資料を示して記述している。</p> <p>○筆者の問題点が分析され、目指す理想を実現するための提案と根拠が示されている。</p> <p>○企画書に必要な項目が挙げられ、必要な情報が図表やグラフなどを用いて示されている。</p> <p>○学習課題に沿って積極的に、自分や他者の提案における「必要な要素」を確かめようとして</p>	○	○	○	3
	<p>発表</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝える際に必要な情報を抽出することができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、主張を支える根拠を提示できている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に、課題に沿った「提案に必要な要素」を挙げようとしている。 	<p>学習した内容から自分の感想</p> <p>や主張を書き、周囲に伝える。</p>	<p>○根拠を提示することの必要性について理解したうえでまとめられている。</p> <p>○資料から抽出した情報の客観性、また根拠と主張との結びつきが、それぞれ不完全ながらも確認</p> <p>できる。</p> <p>○語学習活動に対して積極的に取り組もうとしている。また、ワークシートの記述内容が活動の趣</p> <p>旨に沿ったものになっている。</p>	○	○	○	2
	<p>「驚き」を取り戻す</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の妥当性や信頼性の意味のしかたについて理解を深め使っている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。 	<p>文章中の根拠や引用に注目し、その</p> <p>妥当性や信頼性を吟味する。</p>	<p>○筆者の主張がどのような情報の引用によって支えられているか読み取っている。</p> <p>○「消費」と「浪費」がどのように違うか、理解している。</p> <p>○「驚きを取り戻す」ことの意味とその方法について、筆者の主張を読み取っている。</p> <p>○情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>言葉についての新しい認識</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。 	<p>文章中の根拠や引用に注目し、その</p> <p>妥当性や信頼性を吟味する。</p>	<p>○言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。</p> <p>○筆者の主張がどのような情報の引用によって支えられているか読み取っている。</p> <p>○「平均的な言語の定義」と、それに対する言語についての「新しい認識」について理解してい</p> <p>る。</p> <p>○情報の信頼性や妥当性を吟味しながら読もうとしている。</p>	○	○	○	6
	定期考査・テスト返却			○	○		2
<p>文章を読み取って主張を書く</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読み手に伝わりやすい主張の組み立て方について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、読み手からの評価を踏まえ、自身の意見文の特 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見文の振り返りおよび単元の総括を通して、学習の状況を積極的に把握 	<p>他者の主張をふまえて、自分の考え</p> <p>を書く。</p>	<p>○相互評価の活動をふまえ、自分の意見文の良かった点・改善すべき点を具体的に把握している。</p> <p>○自身の意見文の特長・課題について、自分の言葉でまとめている。</p> <p>○語学習活動に対して積極的に取り組もうとしている。また、ワークシートの記述内容が活動の趣</p> <p>旨に沿ったものになっている。</p>	○	○	○	6	

3 学 期	<p>目</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主張の根拠の信頼性や妥当性について、確かめたり吟味したりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、目的に応じて文中の情報を関連付けながら内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に、自分の目的に応じた情報を文章から取り出し、自分の考えを形成したり修正したりすることに活用しようとしている。 	<p>目標に即して、文章から必要な情報を読み取る。</p> <p>読み取った情報を活用する。</p>	<p>○「目」と「文化の中にある感覚の資源」との関係を読み取り、筆者の主張の根拠の信頼性や妥当性について、評価している。</p> <p>○授業で示されたテーマに対する自分の「考え」について、根拠となる事柄の信頼性や妥当性を確かめたり吟味したりしている。</p> <p>○自分の求める情報を適切に取り出し、内容や書き手の意図を適切に解釈している。</p> <p>○授業で示されたテーマについての自分の考えを、文章の内容を関連付けて表現している。</p> <p>○授業で示されたテーマについて、級友との対話を通して粘り強く考えようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>作業ロボットの悲劇</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主張の根拠の信頼性や妥当性について、確かめたり吟味したりしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、目的に応じて文中の情報を関連付けながら内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に、自分の目的に応じた情報を文章から取り出し、自分の考えを形成したり修正したりすることに活用しようとしている。 	<p>目標に即して、文章から必要な情報を読み取る。</p> <p>読み取った情報を活用する。</p>	<p>○現在の人工知能に可能なこととフレーム問題について読み取り、筆者の見解の信頼性や妥当性について、評価している。</p> <p>○授業で示された「問い」に対する自分の「考え」について、根拠となる事柄の信頼性や妥当性を確かめたり吟味したりしている。</p> <p>○自分の求める情報を適切に取り出し、内容や書き手の意図を適切に解釈している。</p> <p>○授業で示されたテーマについての自分の考えを、文章の内容を関連付けて表現している。</p> <p>○授業で示されたテーマについて、級友との対話を通して粘り強く考えようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>レポートを書く</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ・引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を通して、文、話、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・レポートを書くことを通して、文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を粘り強く考える中で、自らの学習を調整しようとしている。 	<p>適切な情報を集め、問いを立てる。</p> <p>調べたことを根拠として、問いを解決するレポートを書く。</p>	<p>○文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>○引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。</p> <p>○「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えている。</p> <p>○「書くこと」において、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。</p> <p>○レポートを書くことを通して、文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深め、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を粘り強く考える中で、自らの学習を調整しようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>発表</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝達する際に必要な情報を抽出することができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「書くこと」において、主張を支える根拠を提示できている。 ・「話すこと」において、自分の主張を周囲に伝えることができる。 ・「聞くこと」において、相手の主張を聞いて理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の主張を伝えようとする同時に、相手の主張を聞こうとする姿勢がみられる。 	<p>学習した内容からもった自分の感想や主張を書き、周囲に伝える。</p>	<p>○根拠を提示することの必要性について理解したうえでまとめられている。</p> <p>○資料から抽出した情報の客観性、また根拠と主張との結びつきが、それぞれ不完全ながらも確認できる。</p> <p>○諸学習活動に対して積極的に取り組もうとしている。また、ワークシートの記述内容が活動の趣旨に沿ったものになっている。</p>	○	○	○	3
	<p>年間授業内容の総復習</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年間の学習内容を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・状況に応じた技能の活用ができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分から積極的に向き合う姿勢がみられる。 	<p>提示された問題や質問に対し、発言・発表を的確に行う。</p>	<p>○文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。</p> <p>○引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。</p> <p>○「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えている。</p> <p>○「書くこと」において、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。</p>	○	○	○	5
定期考査・テスト返却			○	○		2	
							115

福生 高等学校 令和8年度 (2学年用) 教科 国語 科目 言語文化

教科: 国語
 対象学年組: 第 2 学年 1 組
 教科担当者:
 使用教科書: (言語文化 改訂版 (出版社:大修館書店))
 教科: 国語

- 【知識及び技能】
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 【学びに向かう力、人間性等】

の目標:
 めまぐるしく変化する多様化した時代に、生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようになる。
 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。
 言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を豊かにし、言葉を使いこなす力を身に付けるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
作品の構成や語り手に注目しながら、場面の展開に沿って登場人物の心情の変化を適切に読み取ることができる。	作品や文章に表れているものの見方、感じ方考え方をとらえ、適切に内容を把握することができる。	言葉が持つ価値への認識を深め、言葉を豊かにし、言葉を使いこなす力を身に付けるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
世界を見渡す意 【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉が持つ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	・叙述を的確にとらえる。 ・言語と文化の関係について、筆者の考えを読み取る。	○文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ○我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。	○	○	○	3
文字の深掘 【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉が持つ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	・読書についての筆者の考えを読み取る。 ・主張と根拠、理由づけの関係に着目し、論理展開をとらえる。	○文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ○我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 ○作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。	○	○	○	3
誕生門 【知識・技能】 ・常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉が持つ価値への認識を深め、言葉をとおして他者や社会に意欲的に関わろうとしている。	・場面ごとの人物の心情の変化を読み取る。 ・学習した内容からもった自分の感想や主張を書き、周囲に伝える。	○常用漢字の読み慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 ○我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 ○作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。	○	○	○	4
宇治拾遺物語 児のそら寝／絵師良秀 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりしている。 ・「読むこと」において、異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり討論したりする活動。 【主体的に学習に取り組む態度】	・古文の文体や仮名遣いに慣れる。 ・作者の伝えたいことをとらえる。	○古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ○古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ○作品の内容や形式について、批評したり討論したりしている。 ○異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり討論したりしている。	○	○	○	4
定期考査・テスト返却			○	○		2
今昔物語集 阿蘇の史、盗人にあひてのがること 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品の内容や形式について、批評したり討論したりしている。 ・「読むこと」において、異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり討論したりする活動。 【主体的に学習に取り組む態度】	・古文の文体や仮名遣いに慣れる。 ・作者の伝えたいことをとらえる。	○古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ○古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ○作品の内容や形式について、批評したり討論したりしている。 ○異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり討論したりしている。	○	○	○	4
私たちと漢文 【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。	・日本人の言語生活と、漢字・漢文の関わりを理解する。	○我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。	○	○	○	2
論語・孟子 訓読のきまり①返り点の種類と用法、訓読のきまり②再読文字の種類と用法、訓読のきまり③主な助字の種類と用法 【知識・技能】 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などに	・漢文訓読のきまりを理解し、その口調やリズムに親しむ。 ・名言を味わい、現代に生きている言葉や考え方に、理解を深める。	○我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ○文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 ○作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ○作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係や、内容を解釈を深めている。 ○作品の内容や解釈をふまえて、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	○	○	○	4
定期考査・テスト返却			○	○		2
実体の美と状況の美 【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして語感を磨き、言葉を豊かにしている。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本人と西欧人の美意識の違いについて学習した内容をもとにして、自らの「美」に対する考え方を深めようとしている。	・叙述を的確にとらえる。 ・表についての筆者の考えを読み取る。	○我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして語感を磨き、言葉を豊かにしている。 ○我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○文章の種類をふまえて、内容や構成、展開などについて叙述をもとに的確にとらえている。	○	○	○	4

2 学 期	発表 【知識及び技能】 ・伝達する際に必要な情報を抽出することができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「書くこと」において、主張を支える根拠を提示できている。 ・「話すこと」において、自分の主張を周囲に伝えることができる。 ・「聞くこと」において、相手の主張を聞いて理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の主張を伝えようとする時、相手の主張を聞こうとする姿勢がみられる。	・学習した内容から自分の感想や主張を書き、周囲に伝える。	○根拠を提示することの必要性について理解したうえでまとめられている。 ○資料から抽出した情報の客観性、また根拠と主張との結びつきが、それぞれ不完全ながらも確認できる。 ○諸学習活動に対して積極的に取り組もうとしている。また、ワークシートの記述内容が活動の趣旨に沿ったものになっている。	○	○	○	3	
	枕草子 雪のいと高う降りたるを 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいな味を吟味して、表現したいことを明確にしている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。	・自然の情景に対する作者の感覚をとらえる。 ・作者の人物像をとらえる。	・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいな味を吟味して、表現したいことを明確にしている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、自分のものの方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。	○我が国の言語文化に特徴的な文語の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 ○文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	○	○	○	4
	夢十夜 【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な文語の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・作品に興味をもち、作品の表現に注目しながら読むとしている。	・作品の表現に着目しながら読む。	・我が国の言語文化に特徴的な文語の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 ○文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	○我が国の言語文化に特徴的な文語の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 ○文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	○	○	○	3
	定期考査・テスト返却			○	○		2	
	青が消える (Losing Blue) 【知識・技能】 ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとらえて他者や社会に意欲的に関わりあうとしている。	・作品が暗示しているものについて理解を深める。	○文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 ○我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解している。 ○作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。	○我が国の言語文化に特徴的な文語の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 ○文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	○	○	○	3
	伊勢物語 芥川/あづま下り(参考)かきつばたの折角/筒井筒 【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な文語の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などに	・旅の行程を整理する。 ・物語の内容を読み取り、登場人物の関係を理解する。 ・歌に込められた登場人物の思いをとらえる。 ・和歌の修辭技法と、その効果を理解する。 ・物語中に表れる古典世界の恋愛・結婚のあり方をとらえる。	○我が国の言語文化に特徴的な文語の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。 ○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ○古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ○文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ○作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ○作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めている。 ○作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈を深めている。 ○我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	○我が国の言語文化に特徴的な文語の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 ○文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	○	○	○	4
	十八史略 完壁/鶏鳴鶴唳/臥薪嘗胆 【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。 ・我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などに	・音読して漢文訓読のリズムに慣れ、文章の内容を正確に読み取る。 ・話の展開をとらえ、作者が話に込めた意図を読み取る。 ・故事成語の意味や日本への影響を理解する。	○言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。 ○我が国の言語文化の特質や我が国の文化と外国の文化との関係について理解すること。 ○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解すること。 ○古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ○文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ○作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ○作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めている。 ○作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈を深めている。 ○我が国の言語文化について自分の考えをもっている。	○我が国の言語文化に特徴的な文語の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 ○文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	○	○	○	4
	定期考査・テスト返却			○	○		2	
	発表 【知識及び技能】 ・伝達する際に必要な情報を抽出することができる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・「書くこと」において、主張を支える根拠を提示できている。 ・「話すこと」において、自分の主張を周囲に伝えることができる。 ・「聞くこと」において、相手の主張を聞いて理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の主張を伝えようとする時、相手の主張を聞こうとする姿勢がみられる。	・学習した内容から自分の感想や主張を書き、周囲に伝える。	○根拠を提示することの必要性について理解したうえでまとめられている。 ○資料から抽出した情報の客観性、また根拠と主張との結びつきが、それぞれ不完全ながらも確認できる。 ○諸学習活動に対して積極的に取り組もうとしている。また、ワークシートの記述内容が活動の趣旨に沿ったものになっている。	○	○	○	3	
	セメント樽の中の手紙 【知識・技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な文語の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めている。	・作品の時代背景と、登場人物との関係を理解する。 ・会話文や手紙から、登場人物の状況や心情を理解する。	○我が国の言語文化に特徴的な文語の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 ○作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈を深めている。 ○作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容を解釈を深めている。	○我が国の言語文化に特徴的な文語の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 ○文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	○	○	○	4
三佐日記 開出 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	・旅にでるまでのならわしについて知る。 ・日記の形態や書き手の設定に着目し、その効果について考える。	○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ○古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ○文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ○作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ○文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	○我が国の言語文化に特徴的な文語の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 ○文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	○	○	○	3	
更級日記 あこがれ 【知識・技能】 ・古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 【思考力・判断力・表現力】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ・「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	・旅立ちに際しての思いを読み取る。 ・作者にとって旅の旅がどのような価値をもつものであったのかを理解する。	○作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。 ○古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 ○文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 ○作品や文章に表れているものの方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 ○文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	○我が国の言語文化に特徴的な文語の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 ○文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	○	○	○	3	
年間授業内容の総復習 【知識及び技能】 ・年間の学習内容を理解している。 【思考力・判断力・表現力等】 ・状況に応じた技能の活用ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分から積極的に向き合う姿勢がみられる。	提示された問題や質問に対し、発言・発表を的確に行う。	○文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 ○引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深めている。 ○「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えている。 ○「書くこと」において、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	○我が国の言語文化に特徴的な文語の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ○我が国の言語文化への理解につながる読書の意義と効用について理解を深めている。 ○文章の構成や展開、表現の仕方、表現の特色について評価している。	○	○	○	3	
定期考査・テスト返却			○	○		2		
						75		

福生 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 国語 科目 論理国語

教科： 国語 科目： 論理国語 2 単位
 対象学年組： 第 3 学年 1 組
 教科担当者：
 使用教科書： (新編 論理国語 (出版社：大修館書店))
 教科 国語

【知識及び技能】
 【思考力、判断力、表現力等】
 【学びに向かう力、人間性等】

の目標：
 (1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
作品の構成や語り手に注目しながら、場面の展開に沿って登場人物の心情の変化を適切に読み取ることができる。	作品や文章に表れているものの見方、感じ方考え方をとらえ、適切に内容を把握することができる。	言葉が持つ価値への認識を深め、語彙を豊かにし、言葉を使いこなす力を身に付けるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 数時
<p>知の登山、知の水路</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学ぶ」ことについての筆者の考えを読み取る。 これからの学習で取り組みたいこと、興味のあることについて考える。 <p>【判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとらえて他者や社会に意欲的に関わろうとしている。 	<p>○本文を三つの段落に分けて整理し、文章の構成や展開のしかたを理解した上で、各段落について適切な小見出しをつける。</p> <p>○筆者の主張をふまえて、「学ぶ」とはどのようなことか、今後の高校生活で何を学んでいくのかなどについて、自分の考えを深める。</p> <p>○「知識への水路」が指す内容的に關わりあっている。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 効果的な段落の構成や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。 [(1)エ] <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 [B (1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 「学ぶこと」についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。 	○	○	○	3
<p>「論理的な人」とはどういう人か</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「論理」についての筆者の考えを読み取る。 筆者の主張をふまえて、これからの学習に興味をもつ。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとらえて他者や社会に意欲的に関わろうとしている。 	<p>○接続表現の意味と役割を確認した上で、文章などで適切に用いる。</p> <p>○「論理的/非論理的」という言葉の意味について、筆者の主張をふまえて、実生活と関連づけ自分なりに考察を深める。</p> <p>○筆者の考える「ことば」の特性や「意味のネットワーク」について理解し、それに対する自分の考えをもつ。</p> <p>○「論理」とは何かを理解し、「論理的」に考えることの意味について</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)イ] <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 [B (1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 論理についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、論理的に考える力を伸ばそうとしている。 	○	○	○	4
<p>具体と抽象の関係</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体と抽象の関係について考えを深める。 <p>【思考力・判断力・表現力】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 言葉がもつ価値への認識を深め、言葉をとらえて他者や社会に意欲的に関わろうとしている。 	<p>○「例えば」「つまり」など、具体と抽象を表す接続表現について理解し、自分でも適切に用いている。</p> <p>○設問1において、教科書の図をもとに具体と抽象の関係を考えたとらえ、自分なりに図の続きを考えたりすることで、理解を深めている。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体と抽象の関係を示す語句や表現について理解し使っている。 [(1)イ] 情報を抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。 [(2)イ] <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、具体と抽象の関係を適切に把握しながら、要旨を把握している。 [B (1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に学習に取り組み、具体と抽象の関係について理解を深めようとしている。 	○	○	○	4
<p>ワサキの耳はなぜ長い？</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語彙を増やす。 情報を重要度や抽象度などで階層化して整理する方法を理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、論点を明確にしながら要旨を把握する。 【主体的に学習に取り組む態度】 共進化についての筆者の考えを読み取り、具体と抽象の関係を理解する。 	<p>○具体例の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。</p> <p>○文章の構成や接続表現に注目しながら、筆者の主張を読み取る。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)イ] 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。 [(2)イ] <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 [B (1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 共進化についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、具体と抽象の関係をとおえようとしている。 	○	○	○	5
<p>定期考査・テスト返却</p>			○	○		2
<p>記号的メディアと物理的メディア</p> <p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体と抽象を示す語句や表現を理解する。 文章を読む中で具体と抽象の関係をとおえ、内容を整理する方法について理解する。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、具体と抽象の関係を注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえる。 論点を明確にしながら要旨を把握する。 【主体的に学習に取り組む態度】 メディアについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、具体と抽象の関係をとおえ、内容を整理する方法について理解を深めている。 [(2)イ] 	<p>○具体例の働きを的確にとらえ、具体と抽象の関係を注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえる。</p> <p>○文章の構成や展開のしかたに注目しながら、筆者の主張を読み取る。</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 具体と抽象を示す語句や表現を理解し、文章を読む中で具体と抽象の関係をとおえ、内容を整理する方法について理解を深めている。 [(1)イ] 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深めている。 [(2)イ] <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、具体と抽象の関係を注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。 [B (1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 メディアについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、具体と抽象の関係をとおえようとしている。 	○	○	○	4
<p>定期考査・テスト返却</p>			○	○		2
<p>発表</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 伝達する際に必要な情報を抽出する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「書くこと」において、主張を支える根拠を提示する。 「話すこと」において、自分の主張を周囲に伝える。 「聞くこと」において、相手の主張を聞いて理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の主張を伝えようとするときに、相手の主張を聞きとらえる。 	<p>・学習した内容から自分の感想や主張を書き、周囲に伝える。</p>	<p>根拠を提示することの必要性について理解したうえでまとめられている。</p> <p>資料から抽出した情報の客観性、また根拠と主張との結びつきが、それぞれ不完全ながらも確認できる。</p> <p>諸学習活動に対して積極的に取り組もうとしている。また、ワークシートの記述内容が活動の趣旨に沿ったものになっている。</p>	○	○	○	3

2 学 期	対話の精神 【知識・技能】 ・対比を示す語句、接続表現に注目しながら文章を読み、対比関係や論理展開をとらえる。 ・対比関係や論理展開を理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえる。 ・論点を明確にしながら要旨を把握する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コミュニケーションについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、対比の関係をとらえる。	・対比の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ・文章の構成や接続表現に注目しながら、筆者の主張を読み取る。	【知識・技能】 ・対比を示す語句、接続表現に注目しながら文章を読み、対比関係や論理展開をとらえる助けとしている。【(1)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・コミュニケーションについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、対比の関係をとらえようとしている。	○	○	○	4
	デジタル地図から見える世界 【知識・技能】 ・対比を示す語句や接続表現に注目しながら、対比関係や論理展開をとらえる。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確に理解している。 ・論点を明確にしながら要旨を把握する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・デジタル地図についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、対比の関係をとりとる。	・対比の関係を意識しながら読み、論理の展開を的確にとらえる。 ・文章の構成や論理の展開に注意しながら、要旨を把握する。	【知識・技能】 ・対比を示す語句、接続表現に注目しながら文章を読み、対比関係や論理展開をとらえる助けとしている。【(1)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、対比の関係に注目し、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・デジタル地図についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、対比の関係をとりとえようとしている。	○	○	○	4
	人工の自然—科学技術時代の今を生きるために 【知識・技能】 ・論証や学術的な学習の基礎を学ぶための必要な語彙量を増やす。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・科学技術についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、主張と根拠の関係をとりとる。	・主張と根拠の関係を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。 ・文章の構成や論理の展開に注意しながら、要旨を把握する。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)イ】 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。【(2)ア】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【B(1)ア】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・科学技術についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、主張と根拠の関係をとりとえようとしている。	○	○	○	5
	定期考査・テスト返却			○	○		2
	「考える輩」であり続ける 【知識・技能】 ・論証や学術的な学習の基礎を学ぶための必要な語彙量を増やす。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握する。 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・デジタル社会についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、主張と根拠の関係をとりとる。	・筆者の主張と、それを支える根拠の役割を的確にとらえる。 ・文章の構成や論理の展開に注意しながら、要旨を把握する。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)イ】 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。【(2)ア】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながら要旨を把握している。【B(1)ア】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。【B(1)ウ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・デジタル社会についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、主張と根拠の関係をとりとえようとしている。	○	○	○	4
	論文の時代から質の時代へ 【知識・技能】 ・論証や学術的な学習の基礎を学ぶための必要な語彙量を増やす。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章と資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・消費意識についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、文章と資料の関係をとりとる。	・さまざまな統計資料を本文と関連づけながら読む。 ・統計資料と筆者の主張の関係を的確にとらえる。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章と資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。【B(1)イ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・消費意識についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、文章と資料の関係をとりとえようとしている。	○	○	○	5
定期考査・テスト返却			○	○		2	
発表 【知識及び技能】 ・伝達する際に必要な情報を抽出する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、主張を支える根拠を提示する。 ・「話すこと」において、自分の主張を周囲に伝える。 ・「聞くこと」において、相手の主張を聞いて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の主張を伝えようとする時、相手の主張を聞こうとする。	・学習した内容から自分の感想や主張を書き、周囲に伝える。	○根拠を提示することの必要性について理解したうえでまとめられている。 ○資料から抽出した情報の客観性、また根拠と主張との結びつきが、それぞれ不完全ながらも確認できる。 ○語学活動に対して積極的に取り組もうとしている。また、ワークシートの記述内容が活動の趣旨に沿ったものになっている。	○	○	○	3	
3 学 期	若者の「海外旅行離れ」は本当か？ 【知識・技能】 ・論証や学術的な学習の基礎を学ぶための必要な語彙量を増やす。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・海外旅行離れについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、文章と資料の関係をとりとる。	・文章と統計資料の関係を的確に読み取る。 ・データのまとめ方によって、主張が変わることを理解する。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、資料との関係を把握し、内容や構成を的確にとらえている。【B(1)イ】 【主体的に学習に取り組む態度】 ・海外旅行離れについての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、文章と資料の関係をとりとえようとしている。	○	○	○	5
	紙の本はなくなる 【知識・技能】 ・論証や学術的な学習の基礎を学ぶための必要な語彙量を増やす。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報を的確に比較・整理しながら、紙の本についての筆者の考えを読み取る。	・異なる立場の文章を比べて読み、考えを深める。 ・対比の役割を意識して本文を読み、論理の展開をとらえる。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。【(1)イ】 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。【B(1)ウ】 ・情報を的確に比較・整理しながら、紙の本についての筆者の考えを読み取ろうとしている。	○	○	○	4
	年間授業内容の総復習 【知識及び技能】 ・年間の学習内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・状況に応じた技能の活用ができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分から積極的に向き合う姿勢がみられる。	提示された問題や質問に対し、発言・発表を的確に行う。	○文、語、文章の効果的な紐立て方や接続の仕方について理解している。 ○引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深めている。 ○「書くこと」において、自分の考えや事柄を的確に伝えるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えている。 ○「書くこと」において、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	○	○	○	3
	定期考査・テスト返却			○	○		2
						70	

福生 高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 国語 科目 論国語

教科： 国語 科目： 論国語
 対象学年組： 第 4 学年 1 組
 教科担当者：
 使用教科書： (新編 論国語 (出版社：大修館書店))
 教科 国語

【知識及び技能】
 【思考力、判断力、表現力等】
 【学びに向かう力、人間性等】

の目標：

(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようになる。
 (2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
 (3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 論国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
作品の構成や語り手に注目しながら、場面の展開に沿って登場人物の心情の変化を適切に読み取ることができる。	作品や文章に表れているものの見方、感じ方考え方をとらえ、適切に内容を把握することができる。	言葉が持つ価値への認識を深め、語彙を豊かにし、言葉を使いこなす力を身に付けるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたって国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 時 数
<p>探究する力</p> <p>【知識・技能】 ・論証や学術的な学習の基礎を学ぶための必要な語彙量を増やす。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながらいずれもを把握する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・探究についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、自分の思いや考えを広げたり深める。</p>	<p>・筆者の問題意識をとらえ、主張を読み取る。 ・読み取ったことをふまえて、自分の将来について考えを深める。</p>	<p>【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながらいずれもを把握している。 [B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・探究についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。</p>				3
<p>補助線を引ながら考える</p> <p>【知識・技能】 ・自らの考えを論証するために必要な語句の働きを理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながらいずれもを把握する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の示す現代社会の問題を自分事としてとらえ、筆者の主張を主体的に読み取るうるとともに、実生活でのさまざまな問いに対して補助線を引いて積極的に考える。</p>	<p>・筆者の問題意識をとらえ、主張を読み取る。 ・読み取ったことをふまえて、自分の思いや考えを深める。</p>	<p>【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の働きを理解し、文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などを的確にとらえ、論点を明確にしながらいずれもを把握している。 [B(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者の示す現代社会の問題を自分事としてとらえ、筆者の主張を主体的に読み取るうるとともに、実生活でのさまざまな問いに対して補助線を引いて積極的に考えようとしている。</p>				4
<p>和の思想、問の文化</p> <p>【知識・技能】 ・論証や学術的な学習の基礎を学ぶための必要な語彙量を増やす。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討する。 ・文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本の伝統的な考え方についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、筆者の主張を支える根拠・論拠をとらえる。</p>	<p>・筆者の主張と、それを支える根拠の関係を吟味する。 ・論の展開のしかたや具体例の役割について考える。</p>	<p>【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)イ] ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 [(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 [B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本の伝統的な考え方についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、筆者の主張を支える根拠・論拠をとらえようとしている。</p>				4
<p>定期考査・テスト返却</p>						2
<p>ミロのヴァーナス</p> <p>【知識・技能】 ・論証や学術的な学習の基礎を学ぶための必要な語彙量を増やす。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討する。 ・文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・美についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、筆者の主張を支える根拠・論拠をとらえる。</p>	<p>・筆者の主張と、それを支える根拠の関係を吟味する。 ・論の展開のしかたや具体例の役割について考える。</p>	<p>【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)イ] ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。 [(2)ア] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。 [B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・美についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、筆者の主張を支える根拠・論拠をとらえようとしている。</p>				4
<p>人類の進化から考える「心」の誕生</p> <p>【知識・技能】 ・論証や学術的な学習の基礎を学ぶための必要な語彙量を増やす。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、「心」についての筆者の主張を、根拠や結論を導く論拠を明確に理解した上で批判的に検討し、内容についての理解を深める。 ・文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・心についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、関連する文章との比較をおして自分の考えを述べる。</p>	<p>・複数の文章を比較・分析しながら読み、考えを深める。 ・問題提起と答えの関係を的確にとらえ、自分の考えをもつ。</p>	<p>【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、「心」についての筆者の主張を、根拠や結論を導く論拠を明確に理解した上で批判的に検討し、内容についての理解を深めている。 [B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・心についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、関連する文章との比較をおして自分の考えを広げようとしている。</p>				4
<p>ロボットに心はあるか</p> <p>【知識・技能】 ・論証や学術的な学習の基礎を学ぶための必要な語彙量を増やす。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討する。 ・文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・心についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、関連する文章との比較をおして自分の考えを述べる。</p>	<p>・複数の文章を比較・分析しながら読み、考えを深める。 ・具体例と主張の関係をとらえ、自分の意見をもつ。</p>	<p>【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うこととおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。 [(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、「心」についての筆者の主張を、根拠や結論を導く論拠を明確に理解した上で批判的に検討し、内容についての理解を深めている。 [B(1)ウ] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・心についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、関連する文章との比較をおして自分の考えを広げようとしている。</p>				4
<p>定期考査・テスト返却</p>						2
<p>志望先への提出書類、志望理由書・自己推薦書を書く</p> <p>【知識及び技能】 ・書類作成のための知識を整理し、体裁の整ったものを作る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、志望理由・自己推薦理由を明確にする。 ・「書くこと」において、文章の構成や展開、表現のしかたなどを工夫し、志望理由・自己推薦理由を的確に伝える。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・収集した情報を適切に用い、相手の印象に残る志望理由・自己推薦書を書く。</p>	<p>・進路で必要とされる書類についての概要を知り、それぞれの目的をつかむ。</p>	<p>【知識・技能】 ・自らの進路に応じて、志望理由書や自己推薦書を書くために必要な語句の量を増し、語彙を豊かにしている。 [(1)イ] 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、進路活動に必要なとなる書類の情報を収集、整理して、必要となる書類を把握している。 [A(1)ア] 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進路で必要とされる書類について、積極的に知ろうとしている。</p>				3

2 学 期	クオリアと心 【知識・技能】 ・論証や学術的な学習の基礎を学ぶための必要な語彙を増やす。 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、「心」についての筆者の主張を、根拠や結論を導く論拠を明確に理解した上で批判的に検討し、内容についての理解を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・心についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、関連する文章との比較をとおして自分の考えを述べる。	・複数の文章を比較・分析しながら読み、考えを深める。 ・独特の概念や筆者の主張を的確にとらえ、自分の考えをもち。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、「心」についての筆者の主張を、根拠や結論を導く論拠を明確に理解した上で批判的に検討し、内容についての理解を深めている。〔B(1)ウ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・心についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、関連する文章との比較をとおして自分の考えを広げようとしている。	○	○	○	4	
	問いを立てて書く—テーマ型小論文 【知識・技能】 ・小論文における、文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかた、抽象的なテーマから問いを立てる方法について理解する。 ・テーマ型小論文における、効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分で立てた問いについて、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・これまでの「書くこと」の学習をもとに、自ら問いを立て、小論文を書く。	・テーマをもとに問いを立てて小論文を書く。 ・抽象的なテーマから問いを立てる方法を身につける。	【知識・技能】 ・小論文における、文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかた、抽象的なテーマから問いを立てる方法について理解を深めている。〔(1)ウ〕 ・テーマ型小論文における、効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開のしかたについて理解を深めている。〔(1)エ〕 【思考・判断・表現】 ・「書くこと」において、自分で立てた問いについて、情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえている。〔A(1)イ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・これまでの「書くこと」の学習をもとに、自ら問いを立て、小論文を書くこととしている。	○	○	○	3	
	政治の本質 【知識・技能】 ・自らの主張を論理的に述べるために必要な語句に目を向けて語彙を増やす。 ・論理の展開において、主張と主張の根拠となる資料との関係について理解を深める。【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・政治についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、現代社会についての自分の考えを述べる。	・筆者の主張をふまえて、現代社会についての考えを深める。 ・発想のしかたや論理の展開に注意して、筆者の主張を読み取る	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。〔B(1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・政治についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、現代社会についての自分の考えを広げようとしている。	○	○	○	4	
	定期考査・テスト返却			○	○		2	
	「である」ことと「する」こと 【知識・技能】 ・自らの主張を論理的に述べるために必要な語句に目を向けて語彙を増やす。 ・論理の展開において、主張と主張の根拠となる資料との関係について理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・政治についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、現代社会についての自分の考えを述べる。	・筆者の主張をふまえて、現代社会についての考えを深める。 ・発想のしかたや論理の展開に注意して、筆者の主張を読み取る。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、関連する文章や資料をもとに、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を深めている。〔B(1)オ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・政治についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、現代社会についての自分の考えを広げようとしている。	○	○	○	4	
	人口減少社会の到来 【知識・技能】 ・自らの主張を論理的に述べるために必要な語句に目を向けて語彙を増やす。 ・論理の展開において、主張と主張の根拠となる資料との関係について理解を深める。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、「人口減少社会」という現代の日本が抱える課題に対する筆者の考えを的確に把握する。 ・新しく得た知見やものの見方をとおして、自分の考えを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「人口減少」についての筆者の考えを的確に読み取ることに興味をもち、	・日本社会や世界が抱える課題に関心をもち、考えを広げたり深めたりする。 ・さまざまな資料を参照しながら文章を読み、筆者の考えをと	【知識・技能】 ・自らの主張を論理的に述べるために必要な語句に目を向け、文章の中での使われ方理解することをおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 ・論理の展開において、主張と主張の根拠となる資料との関係について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、「人口減少社会」という現代の日本が抱える課題に対する筆者の考えを的確に把握し、新しく得た知見やものの見方をとおして、自分の考えを深めている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・「人口減少」についての筆者の考えを的確に読み取ることに興味をもち、自らが暮らす地域社会が抱える課題について目を向け、自分の考えを広げようとしている。	○	○	○	4	
	定期考査・テスト返却			○	○		2	
	発表 【知識及び技能】 ・伝達する際に必要な情報を抽出する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「書くこと」において、主張を支える根拠を提示する。 ・「話すこと」において、自分の主張を周囲に伝える。 ・「聞くこと」において、相手の主張を聞いて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分の主張を伝えようとする時、相手の主張を聞こうとする。	・学習した内容から自分の感想や主張を書き、周囲に伝える。	○根拠を提示することの必要性について理解したうえでまとめられている。 ○資料から抽出した情報の客観性、また根拠と主張との結びつきが、それぞれ不完全ながらも確認できる。 ○語学習活動に対して積極的に取り組もうとしている。また、ワークシートの記述内容が活動の趣旨に沿ったものになっている。	○	○	○	3	
	3 学 期	采葉の地図帳 【知識・技能】 ・自らの主張を論理的に述べるために必要な語句に目を向けて語彙を増やす。 ・論理の展開において、主張と主張の根拠となる資料との関係について理解を深める。【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、社会について、文章の内容や解釈を多様な観点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人口減少についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日本社会や世界が抱える課題について、自分の考えを述べる。	・日本社会や世界が抱える課題に関心をもち、考えを広げたり深めたりする。 ・本文中の数値や地図を的確に読み取り、筆者の主張をつかむ。	【知識・技能】 ・論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 ・主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深めている。〔(2)ア〕 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、社会について、文章の内容や解釈を多様な観点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めている。〔B(1)カ〕 【主体的に学習に取り組む態度】 ・人口減少についての筆者の考えを読み取ることに興味をもち、日本社会や世界が抱える課題について、自分の考えを広げようとしている。	○	○	○	4
		年間授業内容の総復習 【知識及び技能】 ・年間の学習内容を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・状況に応じた技能の活用ができている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自分から積極的に向き合う姿勢がみられる。	提示された問題や質問に対し、発言・発表を的確に行う。	○文、語、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解している。 ○引用の仕方や出典の示し方、それらの必要性について理解を深め使っている。 ○「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えている。 ○「書くこと」において、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。	○	○	○	3
定期考査・テスト返却				○	○		2	

都立福生高等学校定時制課程 令和8年度【国語教養】年間授業計画

教科:(国語)科目:(国語教養) 対象:(第4学年)

教科担当者:(1組:)

使用教科書:なし

	指導内容 【年間授業計画】	科目 国語教養 の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点・方法	予定時数
4月	オリエンテーション	授業の進行・方針の説明	関心・意欲・態度	1
	漢字の成り立ち	漢字の成り立ちと文字の種類について学ぶ	関心・表現・技能 小テスト(知識・理解)	3
	漢字検定の問題	3級の問題を解く	関心・表現・技能 小テスト(知識・理解)	2
5月	漢字検定の問題	3級の問題を解く・確認テスト	関心・表現・技能 小テスト(知識・理解)	4
	履歴書の書き方	履歴書の書き方	関心・表現・技能 小テスト(知識・理解)	2
	手紙の書き方	時候の挨拶の種類と使い分け、頭語と結語	関心・意欲・態度 小テスト(知識・理解)	2
6月	漢字検定の問題	3級の問題を解く・確認テスト	関心・意欲・態度・思考 小テスト(知識・理解)	4
	手紙の書き方	はがきの書式・便箋・一筆箋	関心・意欲・態度・思考 小テスト(知識・理解)	4
7月	漢字検定の問題	3級の問題を解く・確認テスト	関心・意欲・態度・思考 小テスト(知識・理解)	3
	書式の確認	1学期に学んだ書式の実践確認	関心・意欲・態度・思考 小テスト(知識・理解)	3
9月	漢字検定の問題	準2級の問題を解く・確認テスト	意欲・思考・判断・表現 小テスト(知識・理解)	4
	ビジネスメール	ビジネスメールのマナーとルール・本文	意欲・思考・判断・表現 小テスト(知識・理解)	4
10月	漢字検定の問題	準2級の問題を解く・確認テスト	関心・意欲・態度・思考 小テスト(知識・理解)	2
	手紙の種類	状況に合わせた手紙の種類について	思考・判断・表現・技能 小テスト(知識・理解)	2
	手紙での言葉遣いと忌み言葉	状況に合わせた言葉遣いと忌み言葉	思考・判断・表現・技能 小テスト(知識・理解)	2
11月	漢字検定の問題	準2級の問題を解く・確認テスト	関心・意欲・思考・表現 小テスト(知識・理解)	4
	はがき・手紙の作成	学習内容を踏まえ、実際にはがきや手紙を作成する	関心・意欲・思考・表現 小テスト(知識・理解)	4
12月	漢字検定の問題	準2級の問題を解く・確認テスト	関心・意欲・思考・表現 小テスト(知識・理解)	3
	SPI	SPIを解くことで、社会人に求められる知識を学ぶ	関心・意欲・思考・表現 小テスト(知識・理解)	3
1月	漢字検定の問題	準2級の問題を解く・確認テスト	関心・意欲・思考・表現 小テスト(知識・理解)	3
	SPI	SPIを解くことで、社会人に求められる知識を学ぶ	関心・意欲・思考・表現 小テスト(知識・理解)	3
2月				
3月				

福生 高等学校 令和8年度 (1学年用) 教科 地理 科目 地理総合

教科: 地理 科目: 地理総合 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第 1 学年 1 組
 教科担当者:
 使用教科書: (帝国書院 高校生の地理総合)
 教科 地理 の目標:

- 【知識及び技能】世界の諸地域の地域的特色や課題を、地理に関わる諸事象と関連付けて理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理に関する情報を地図や地理情報システム等を用いて調査や諸資料から適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に地理に係わる事象で見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

科目 地理総合 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の諸地域の地域的特色や課題を、地理に関わる諸事象と関連付けて理解する。	地理に関する情報を地図や地理情報システム等を用いて調査や諸資料から適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける。	よりよい社会の実現を視野に地理に係わる事象で見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 感 配当			
				知	思	感	時数
1 学 期	地図と地理情報システム ・地図や地理情報システムの役割や有用性などについて、日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に理解する。 ・よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を、地図や地理情報システムを用いて主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・緯度と経度 ・時差 ・地球儀と地図 ・身の回りの地図 ・統計地図の種類と利用 ・地理情報システムの活用	【知識・技能】 ・地図の読み取りを基本とし、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・地図や地理情報システムについて、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・対話の大切さを意識し、相手の意見も取り入れて意見の発表ができる。	○	○	○	8
	結びつきを深める現代世界 ・方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて、現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に理解する。 ・世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきについて、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。	・現代世界の国家と領域 ・地図から見る日本の位置と領域 ・グローバル化と多様な結びつき ・拡大する貿易 ・世界を結ぶ交通・通信 ・観光と人のグローバル化	【知識・技能】 ・さまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・現代世界の地域構成について、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	6
	世界の地形と人々の生活 ・人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて、世界の人々の特色ある生活文化を基に理解する。	・生活文化の多様性 ・生活と地形の関わり ・河川がつくる地形と人々の世界 ・海岸の地形と人々の生活 ・水河地形・カルスト地形・感想地帯と人々の生活	【知識・技能】 ・国境の種類、国家の領域、国家の主権について理解している。 【思考・判断・表現】 ・国境の種類、国家の領域、国家の主権について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国境の種類、国家の領域、国家の主権について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	10
	世界の気候と人々の生活 ・世界各地ではどのような生活が営まれているのか、人々の生活はそれぞれの気候要素とどのような関わり合っているかについて理解する。 世界の宗教・民族・言語と人々の生活 ・言語や宗教は、人々の生活にどのような影響を与えているか理解する。	・生活と気候の関わり ・熱帯の気候と人々の生活 ・乾燥帯の気候と人々の生活 ・温帯の気候と人々の生活 ・亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活 ・宗教・民族・言語の多様性 ・国際理解を深めるために ・世界から見た日本の生活文化	【知識・技能】 ・気候の変化が人々の生活にどのような影響を与えているかの知識、技能を身に付けている。 ・言語や宗教が人々の生活にどのような影響を与えているかの知識、技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・気候の変化が人々の生活にどのような影響を与えているかを多面的に考察し、表現している。 ・言語や宗教が人々の生活にどのような影響を与えているかを多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・気候の変化が人々の生活にどのような影響を与えるかを主体的に追究、解決しようとしている。 ・言語や宗教が人々の生活にどう影響しているかを主体的に追究・解決しようとしている。	○	○	○	14
2 学 期	地球の課題と国際協力 ・世界には、国や地域によってどのような問題や課題があり、どのような対策が行われているかを理解する。	・人口問題 ・食料問題 ・都市・居住問題 ・感染症・衛生問題 ・資源・エネルギー問題	【知識・技能】 ・世界の諸問題についての知識・技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・世界の諸問題について多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の諸問題をどのように解決するかを主体的に考えている。	○	○	○	12
	日本の自然環境 ・自然災害の特徴を世界や日本の各地で発生する災害をもとに理解する。	・日本の自然環境と人々の生活 ・地震・津波や火山活動による災害と防災	【知識・技能】 ・日本の自然環境が人々の生活にどのように影響しているかについて理解している。 ・自然から起こる災害の被害と防災方法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・日本の自然環境が人々の生活にどのように影響しているかを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・自然災害の被害と防災方法について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本の自然環境が人々の生活にどのように影響しているかを主体的に考えている。 ・自然災害の被害と防災方法について主体的に考えている。	○	○	○	4
3 学 期	地震・津波や火山活動による災害と防災 ・地震・津波や火山活動による災害を防ぐためには、どのような取り組みが必要	・気象災害と防災 ・自然災害への備え	【知識・技能】 ・自然から起こる災害の被害と防災方法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・自然災害の被害と防災方法について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自然災害の被害と防災方法について主体的に考えている。		○	○	14
	定期考査			○	○		2
	定期考査			○	○		2
							合計
							78
	定期考査			○	○		2

福生 高等学校 令和8年度 (2学年用) 教科 地理 科目 地理総合

教科: 地理 科目: 地理総合 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第 2 学年 1 組
 教科担当者:
 使用教科書: (帝国書院 高校生の地理総合)
 教科 地理 の目標:

- 【知識及び技能】世界の諸地域の地域的特色や課題を、地理に関わる諸事象と関連付けて理解する。
- 【思考力、判断力、表現力等】地理に関する情報を地図や地理情報システム等を用いて調査や諸資料から適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】よりよい社会の実現を視野に地理に係わる事象で見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

科目 地理総合 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の諸地域の地域的特色や課題を、地理に関わる諸事象と関連付けて理解する。	地理に関する情報を地図や地理情報システム等を用いて調査や諸資料から適切かつ効果的に調べまとめる力を身に付ける。	よりよい社会の実現を視野に地理に係わる事象で見られる課題を主体的に探究しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 感 配当			
				知	思	感	時数
1 学 期	世界と地理情報システム ・地図や地理情報システムの役割や有用性などについて、日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に理解する。 ・よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を、地図や地理情報システムを用いて主体的に追究、解決しようとする態度を養う。	・緯度と経度 ・時差 ・地球儀と地図 ・身の回りの地図 ・統計地図の種類と利用 ・地理情報システムの活用	【知識・技能】 ・地図の読み取りを基本とし、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・地図や地理情報システムについて、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・対話の大切さを意識し、相手の意見も取り入れて意見の発表ができる。	○	○	○	8
	結びつきを深める現代世界 ・方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきなどについて、現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に理解する。 ・世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきについて、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、多面的・多角的に考察し、表現する。	・現代世界の国家と領域 ・地図から見る日本の位置と領域 ・グローバル化と多様な結びつき ・拡大する貿易 ・世界を結ぶ交通・通信 ・観光と人のグローバル化	【知識・技能】 ・さまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結びつきについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・現代世界の地域構成について、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結びつきなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	6
	世界の地形と人々の生活 ・人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて、世界の人々の特色ある生活文化を基に理解する。	・生活文化の多様性 ・生活と地形の関わり ・河川がつくる地形と人々の世界 ・海岸の地形と人々の生活 ・水河地形・カルスト地形・感想地帯と人々の生活	【知識・技能】 ・国境の種類、国家の領域、国家の主権について理解している。 【思考・判断・表現】 ・国境の種類、国家の領域、国家の主権について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・国境の種類、国家の領域、国家の主権について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	10
	世界の気候と人々の生活 ・世界各地ではどのような生活が営まれているのか、人々の生活はそれぞれの気候要素とどのような関わり合っているかについて理解する。 世界の宗教・民族・言語と人々の生活 ・言語や宗教は、人々の生活にどのような影響を与えているか理解する。	・生活と気候の関わり ・熱帯の気候と人々の生活 ・乾燥帯の気候と人々の生活 ・温帯の気候と人々の生活 ・亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活 ・宗教・民族・言語の多様性 ・国際理解を深めるために ・世界から見た日本の生活文化	【知識・技能】 ・気候の変化が人々の生活にどのような影響を与えているかの知識、技能を身に付けている。 ・言語や宗教が人々の生活にどのような影響を与えているかの知識、技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・気候の変化が人々の生活にどのような影響を与えているかを多面的に考察し、表現している。 ・言語や宗教が人々の生活にどのような影響を与えているかを多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・気候の変化が人々の生活にどのような影響を与えるかを主体的に追究、解決しようとしている。 ・言語や宗教が人々の生活にどう影響しているかを主体的に追究・解決しようとしている。	○	○	○	14
2 学 期	地球の課題と国際協力 ・世界には、国や地域によってどのような問題や課題があり、どのような対策が行われているかを理解する。	・人口問題 ・食料問題 ・都市・居住問題 ・感染症・衛生問題 ・資源・エネルギー問題	【知識・技能】 ・世界の諸問題についての知識・技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 ・世界の諸問題について多面的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・世界の諸問題をどのように解決するかを主体的に考えている。	○	○	○	12
	日本の自然環境 ・自然災害の特徴を世界や日本の各地で発生する災害をもとに理解する。	・日本の自然環境と人々の生活 ・地震・津波や火山活動による災害と防災	【知識・技能】 ・日本の自然環境が人々の生活にどのように影響しているかについて理解している。 ・自然から起こる災害の被害と防災方法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・日本の自然環境が人々の生活にどのように影響しているかを多面的・多角的に考察し、表現している。 ・自然災害の被害と防災方法について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・日本の自然環境が人々の生活にどのように影響しているかを主体的に考えている。 ・自然災害の被害と防災方法について主体的に考えている。	○	○	○	4
3 学 期	地震・津波や火山活動による災害と防災 ・地震・津波や火山活動による災害を防ぐためには、どのような取り組みが必要	・気象災害と防災 ・自然災害への備え	【知識・技能】 ・自然から起こる災害の被害と防災方法について理解している。 【思考・判断・表現】 ・自然災害の被害と防災方法について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自然災害の被害と防災方法について主体的に考えている。		○	○	14
	定期考査			○	○		2
	定期考査			○	○		2
							合計
							78
	定期考査			○	○		2

高等学校 令和8年度（3 学年用） 教科 地歴 科目 歴史総合

教科： 地歴 科目： 歴史総合 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書：（ 実況出版： 歴史総合 ）

教科 地歴 の目標：

【知識及び技能】教科に関する様々な情報を諸資料から適切かつ効果的に調べまとめる力を育成する。

【思考力、判断力、表現力等】歴史的・社会的事象の見方・考え方を働かせて考察する力、構想する力を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】歴史的・社会的事象の見方・考え方を働かせて議論する力を育成する。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史を理解し、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる力を育成する。	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせて考察する力、構想する力を育成する。	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせて議論する力を育成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	近代化への胎動 ・江戸時代の日本やアジアにおける生産と流通、江戸幕府の4つの口や周辺地域との貿易などを基に、18世紀後半の日本からみた東アジアの政治・経済と社会を理解させる。	・江戸時代の日本と東アジア秩序の変動 ・江戸の生産・流通と諸改革 ・幕政の改革と東アジア世界	【知識及び技能】 17世紀～19世紀の日本と清の海禁政策の内容と交易場所を学んでいる。 【思考力、判断力、表現力等】 日本と清の海禁政策を比較し、検討している。 【学びに向かう力、人間性等】 日本と清の対外政策の内容について主体的に学んでいる。	○	○	○	3
	欧米の市民革命と「西洋の衝撃」 ・18世紀とその前後の世界全体の経済活動の特徴、ヨーロッパ各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係、江戸幕府が崩壊していく関係などを多面的・多角的に考察し、表現させる。	・イギリス産業革命 ・アメリカ独立戦争 ・フランス革命とウィーン体制 ・アメリカ合衆国の発展 ・オスマン帝国の衰退とロシア ・アヘン戦争の衝撃と日本の開国 ・江戸幕府の滅亡	【知識及び技能】 18世紀のヨーロッパ・アジア・アメリカ大陸の社会の変化とその前後の世界の経済を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 18世紀とその前後のヨーロッパやアメリカ大陸、東アジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 欧米が市民革命から国民国家を形成したことがアジア変容とどのように関連しているかを主体的に学んでいる。	○	○	○	10
	定期考査・テスト返却			○	○		2
	欧米諸国と日本の国民国家形成 ・19世紀後半の欧米諸国の動きと日本の明治政府の政策、日本と欧米諸国の外交関係などを基に、19世紀後半のヨーロッパと日本との経済と社会を理解させる。	・イギリス・フランスの繁栄 ・イタリア・ドイツの統一 ・明治政府の諸改革 ・日本のアジア外交と国境問題 ・自由民権運動と大日本帝国憲法	【知識及び技能】 19世紀後半のヨーロッパと日本の政治と社会を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 19世紀後半のヨーロッパにおける政治活動の特徴、ヨーロッパ各地域間の関係、日本と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 19世紀のヨーロッパと日本が国民国家を形成することが他のアジア諸国にどのような影響を与えたかを主体的に学んでいる。	○	○	○	6
	帝国主義の時代 ・19世紀から20世紀初頭にかけての欧米諸国の帝国主義の動き、日本と東アジアの関係、欧米諸国によるアジア諸国への進出を理解させる。	・帝国主義の時代へ ・朝鮮をめぐる国際関係と日清戦争 ・日清戦争後の東アジア ・日露戦争と東アジアの変動 ・日本の産業革命	【知識及び技能】 帝国主義の特徴について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 19世紀から20世紀初頭の日本における政治の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 帝国主義や日本のアジア進出に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を持っている。	○	○	○	12
定期考査・テスト返却			○	○		2	

2 学 期	<p>第一次世界大戦と大衆社会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の政治・国際関係の特徴とその後の国際協調体制の内容を理解させる。 ・第一次世界大戦後、欧米と日本での大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦 ・ロシア革命とソ連の成立 ・米騒動とデモクラシー ・ヴェルサイユ体制とワシントン体制 ・アジアの民族運動 ・第一次世界大戦後の欧米諸国 ・ひろがる社会運動と普通選挙の実現 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦の特徴とその後の国際協調体制の内容を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料を活用して、大衆化にともなう生活や社会の変容について考察し、問いを表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・20世紀初頭から戦間期にかけての日本と世界の諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を持って学習に励んでいる。 	○	○	○	12
	定期考査・テスト返却			○	○		2
	<p>経済危機と第二次世界大戦</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌と各国の対応 ・ファシズムの時代 ・満州事変と軍部の台頭 ・日中戦争と軍事態勢 ・第二次世界大戦の勃発 ・第二次世界大戦の終結 ・国際連合の成立と日本 ・日本占領と日本国憲法 ・朝鮮戦争と日本 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に国際協調体制の動揺を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦下の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二次世界大戦の推移と第二次世界大戦が大戦後の世界に与えた影響、第二次世界大戦後の国際秩序の形成が社会に及ぼした影響を自ら意欲的に学ぶ。 	○	○	○	20
<p>冷戦と脱植民地化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米ソによる東西冷戦の対立構造や脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に国際政治の変容を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・植民地の独立 ・米ソ両陣営の動揺 ・日本の国際社会復帰と高度経済成長 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、国際政治の変容を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1950年代の冷戦期から1970年代の石油危機で日本の高度経済成長期がおわるころの日本を中心に世界的な動きと関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとする態度を持って学習に挑んでいる。 	○	○	○	12	
定期考査・テスト返却			○	○		2	
3 学 期	<p>多極化する世界</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石油危機、アジアの諸地域の経済発展、社会主義国における市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・石油危機と世界経済 ・緊張緩和から冷戦の終息へ ・日本の経済大国化 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石油危機、アジアの諸地域の経済発展などを基に、市場経済の変容と課題を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1970年代に入り石油危機などが起きたころから21世紀の現代までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について多面的・多角的に考察している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1970年代に入り石油危機などが起きたころから21世紀の現代までの日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求している。 	○	○	○	8
	<p>グローバル化と世界</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本とその他の国や地域の動向を比較し、事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、相互に関連付けたり、現代的な諸課題を展望したりするなどして、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域紛争と対立 ・国際秩序の変容 ・グローバル化のなかの日本 ・持続可能な社会をめざして 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事象の背景や原因、結果や影響などに着目して、主題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・21世紀に入って日本と世界の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追求、解決しようとしている。 	○	○	○	12
	定期考査・テスト返却			○	○		2

合計

105

福生 高等学校 令和8年度(4学年用) 教科 公民 科目 政治・経済

教科: 公民 科目: 政治・経済 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第 4 学年 1 組
 教科担当者:
 使用教科書: (東京書籍 政治・経済)
 教科 公民 の目標:

- 【知識及び技能】 現代社会の諸課題の把握に向けて手がかりとなる事象や考えなどについて理解するとともに、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会に見られる諸課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現のために現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、日本および国際社会において国家および社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会の諸課題の把握に向けて手がかりとなる事象や考えなどについて理解するとともに、諸資料から情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	現代社会に見られる諸課題を把握し、説明するとともに、身につけた判断基準を根拠に社会の在り方などについて構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断して、合意形成や社会参画に向かう力を養う。	よりよい社会の実現のために現代社会の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して、日本および国際社会において国家および社会の形成に、より積極的な役割を果たそうとする自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	感	配当 時数	
1 学期	○民主政治への道のりと現代の民主政治、法と民主政治、基本的人権の確立と国際化、世界のおもな政治体制について理解する。 ○法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにどのようなことが必要か考察する。	民主政治の成立 法と民主政治 基本的人権の確立 現代の民主政治 世界のおもな政治体制	【知識・技能】 ・民主政治への道のりと現代の民主政治、法と民主政治、基本的人権の確立と国際化、世界のおもな政治体制について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにどのようなことが必要か多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	8
	○日本国憲法の特徴や憲法改正の議論、基本的人権の保障と「公共の福祉」、平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解する。 ○近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し、日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているか考察する。	日本国憲法の制定と基本原理 基本的人権の保障 平和主義	【知識・技能】 ・明治憲法と比べた日本国憲法の特徴や憲法改正の議論、基本的人権の保障と「公共の福祉」との関係、平和主義の意義と日本の安全保障体制について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・近年の「新しい人権」や安全保障などをめぐる議論に着目し、日本国憲法が現在の日本においてどのような役割を果たしているか多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	6
	定期考査・テスト返却			○	○		2
	○国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解する。 ○国会、内閣、裁判所、地方自治それぞれで行われた改革に着目し、日本の政治機構にはどのような課題があり、どうすればそれを解決できるか考察する。	国会と立法 内閣と行政 裁判所と司法 地方自治	【知識・技能】 ・国会の権限や運営、内閣の機能と国会との関係、司法権の独立の必要性や裁判のしくみ、地方自治の運営と住民の権利について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・国会、内閣、裁判所、地方自治それぞれで行われた改革に着目し、日本の政治機構にはどのような課題があり、どうすればそれを解決できるか多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	10
定期考査			○	○		2	
2 学期	○経済主体と経済の循環、企業の活動と社会的責任、市場経済の機能と限界、国民所得と経済成長、物価と国民生活、金融および財政のしくみと機能について理解する。 ○企業、市場経済、国民所得、金融、財政などの観点に着目し、現代の経済はどのようなしくみで、どのような課題を抱えているか考察する。	経済主体と経済の循環 生産のしくみと企業 市場経済の機能と限界 国民所得と経済成長 金融のしくみと機能 財政のしくみと機能	【知識・技能】 ・経済主体と経済の循環、企業の活動と社会的責任、市場経済の機能と限界、国民所得と経済成長、物価と国民生活、金融および財政のしくみと機能について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・企業、市場経済、国民所得、金融、財政などの観点に着目し、現代の経済はどのようなしくみで、どのような課題を抱えているか多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査			○	○		2
	○公害と環境保全、農業・食料問題、中小企業の現状と課題、情報化の進展と課題、消費者問題、雇用と労働問題、社会保障と福祉社会の実現について理解する。 ○日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何ができるか考察する。	公害と環境保全 農業・食料問題 中小企業の現状と課題 情報化の進展と社会の変化 消費者問題 雇用と労働問題 社会保障と福祉	【知識・技能】 ・公害と環境保全、農業・食料問題、中小企業の現状と課題、情報化の進展と課題、消費者問題、雇用と労働問題、社会保障と福祉社会の実現について理解している。 ・考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何ができるか多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の日本政治について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	12
定期考査			○	○		2	
3 学期	○社会的な見方・考え方を総合的に働かせ、習得した概念や理論などを活用しながら、他者と協働して持続可能な社会の形成が求められる現代日本の諸課題の解決に向け、政治と経済を関連させて多面的・多角的に考察したり構想したりする活動を通して、よりよい社会の在り方について自分の考えを説明、論述し、合意形成や社会参画に向かうことができるようにする。	少子高齢社会における社会保障 地域社会の活性化 多様な働き方・生き方の実現 中小企業の意義と課題 日本の財政の健全化 持続可能な食料・農業の実現 防災と安全・安心な社会の実現	【知識・技能】 ・現代日本における政治・経済の諸課題に関する諸資料について、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・少子高齢社会における社会保障、地域社会の活性化、多様な働き方・生き方の実現、中小企業の意義と課題、日本財政の健全化、持続可能な食料・農業の実現、防災と安全・安心な社会の実現などについて、取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代日本における政治・経済の諸課題について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	4
	○社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の国際経済に関する諸課題について多面的・多角的に考察したり、解決に向けて構想したりする活動を通して、現代の国際経済に関する概念や理論などを理解できるようにするとともに、国際平和と人類の福祉に寄与しようとする自覚を深める。	貿易と国際収支 戦後国際経済体制の展開 発展途上国の経済 グローバル化する世界経済 地球環境問題 資源・エネルギー問題 人口・貧困・感染症	【知識・技能】 ・貿易の現状と意義、為替レートの変動、国民経済と国際収支、国際経済の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深めている。 ・現代の国際経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめている。 【思考・判断・表現】 ・個人の尊厳と基本的人権の尊重、対立、協調、効率、公正などに着目して、相互依存関係が深まる国際経済の特質および国際経済において果たすことが求められる日本の役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・現代の国際経済について、よりよい社会の実現のために現実社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。				14
定期考査			○	○		2	
						合計	78

福生 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書： 新 高校の数学 I (出版社: 数研出版))

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 計算や関数などの基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数学的に表現・処理する技能の基礎を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、2次関数についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数や式を目的に応じて適切に変形したり表現したりする力、事象の関数関係に着目し、的確に表現してその特徴を式、グラフの相互に関連付けて考察する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	数と式の計算 ・これまでに学習した計算の方法と関連付けて、数や式を処理する力を養う。 ・文字を使った式で数量を表すことができるようにする。 ・単項式と多項式の違いを理解し、項や次数などの用語を理解できるようにする。 ・分配法則を理解し、分配法則を利用できるようにする。	・正負の数の四則計算 ・単項式と多項式 ・多項式の四則計算 ・分配法則と展開の公式	【知識・技能】 ・正負の数の四則演算ができる。 ・文字を使った式で数量を表すことの有用性を理解している。 ・多項式の加法、減法ができる。また、指数法則や分配法則を用いて、多項式の乗法の計算ができる。 【思考・判断・表現】 ・四則が混じった計算の順序を正確に判断できる。 ・ある数量について、文字を使った式で表現することができる。 ・式の展開と分配法則の関係を考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・数と式の計算方法に関心を持ち、積極的に習得しようとする。 ・単項式、多項式とその整理の仕方に関心を持ち、考察しようとする。 ・多項式の乗法には、数の場合と同様に分配法則が使えることに関心を持ち、考察しようとする。	○	○	○	15
	定期考査 考査返却			○	○		2
	数と式の計算 ・因数分解の仕方を理解する。 ・1つの文字をおきかえて、既に学習した計算の方法と関連付けて、処理する力を養う。 ・平方根の意味を理解し、簡単な無理数の四則計算ができるようにする。 ・無理数の意味を理解するとともに、有理数と無理数の違いを理解する。また、絶対値の意味を理解し、記号を用いて表すことができるようにする。	・因数分解 ・展開、因数分解の工夫 ・根号を含む式の計算 ・実数 ・絶対値	【知識・技能】 ・因数分解の公式を利用できる。 ・文字のおきかえを利用して、因数分解を行うことができる。 ・平方根の意味を理解している。 ・根号を含む式の四則計算ができる。 ・有理数と無理数の違い、および実数の意味を理解している。また、絶対値の意味と記号表示を理解している。 【思考・判断・表現】 ・たすき掛けの仕組みを理解している。 ・文字をおきかえることで、展開や因数分解の公式を適用できるようになることを予測できる。 ・実数の絶対値を、数直線上で原点からの距離として考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・展開と因数分解の関係に着目し、因数分解の検算に展開を利用しようとする。 ・式の処理において、おきかえなどの利用によって、よりよい方法を考察しようとする。	○	○	○	20
	定期考査 考査返却			○	○		2

福生 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 2 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書： 新 高校の数学 I (出版社: 数研出版))

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 関数やグラフ，集合と命題などの基本的な概念を理解するとともに，それらを数学的に表現・処理する技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 事象を数学的な表現を用いて簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
2次関数，集合と命題，図形と計量についての基本的な概念を体系的に理解するとともに，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表し，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，命題論理等に対して論理的に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	2次関数 ・2次関数の値の変化について理解し，具体的な課題の解決に2次関数を活用する力を培う。 ・2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し，放物線と直線などを利用して2次方程式の解を求めることができるようにする。 ・2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し，放物線と直線などを利用して2次不等式の解を求めることができるようにする。	・2次関数の最大値、最小値 ・グラフと2次方程式 ・グラフと2次不等式	【知識・技能】 ・2次関数の値の変化およびグラフの特徴について理解している。 ・2次関数の最大値および最小値を求めることができる。 ・2次方程式の解と放物線との関係について理解している。 ・2次不等式の解と放物線との関係について理解し，放物線などを用いて2次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・2つの数量の関係に着目し，日常の事象を関数関係として捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を2次関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。	○	○	○	12
	定期考査 考査返却			○	○		2
	2次関数 ・2次関数の値の変化について理解し，具体的な課題の解決に2次関数を活用する力を培う。 ・2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し，放物線と直線などを利用して2次方程式の解を求めることができるようにする。 ・2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し，放物線と直線などを利用して2次不等式の解を求めることができるようにする。	・2次関数の最大値、最小値 ・グラフと2次方程式 ・グラフと2次不等式	【知識・技能】 ・2次関数の値の変化およびグラフの特徴について理解している。 ・2次関数の最大値および最小値を求めることができる。 ・2次方程式の解と放物線との関係について理解している。 ・2次不等式の解と放物線との関係について理解し，放物線などを用いて2次不等式の解を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・2つの数量の関係に着目し，日常の事象を関数関係として捉え，問題を解決したり，解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・事象を2次関数の考えを用いて考察するよさを認識し，問題解決にそれらを活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判	○	○	○	10
	定期考査 考査返却			○	○		2

福生 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科： 数学 科目： 数学Ⅱ 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書： 数研出版 新 高校の数学Ⅱ)

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的な表現を適切に用いる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方・考え方を身に付け、事象を数学化したり、数学的に表現・処理したりする力を養うこと。数学的根拠に基づいて判断する力や、考えを論理的に表現する力を育成すること。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学的活動の楽しさや数学的な見方・考え方の良さを感じ、主体的に数学を学ぼうとする態度を養うこと。数学を活用して考えをみがぐ力や、粘り強く取り組む態度を育てること。

科目 数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数について、基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。	事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果から統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	式の計算 ・多項式の乗法・除法及び分数式の計算について理解できるようにする。 ・展開の公式を用いて、因数分解をすることができるようにする。 ・数の範囲を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の計算ができるようにする。	・分数式 ・複素数	【知識・技能】 ・多項式の乗法の計算ができる。 ・分数式の乗法、除法の計算ができる。 ・因数分解ができる。 ・複素数の計算ができる。 ・共役な複素数を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・分数式の計算について、分数の計算と同じように考察することができる。 ・負の数の平方根を虚数単位を用いて表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・3乗に関わる展開の公式を自ら導こうとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	15
	定期考査 考査返却			○	○		2
	複素数と方程式 ・2次方程式の解の公式及び整域の性質から2次方程式を解くことができるようにする。 ・複素数を利用することで、2次方程式について一般に考察できるようにする。 ・整式の除法をできるようにする。 ・因数定理を用いて、高次方程式を解くことをできるようにする。	・判別式 ・整式の除法 ・因数定理 ・高次方程式	【知識・技能】 ・因数分解により2次方程式を解くことができる。 ・解の公式により2次方程式を解くことができる。 ・2次方程式の解の種類を判別式を用いて判断できる。 ・整式の除法ができる。 ・因数定理を用いて、高次方程式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ・2次方程式の判別式の意味を、解の公式及び複素数と関連付けて考察することができる。 ・因数定理により高次方程式を解くことができることを推察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・2次方程式の解の公式を自ら導こうとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	○	○	○	20
	定期考査 考査返却			○	○		2

福生 高等学校 令和8年度（4学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教科：数学

科目：数学Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第 4 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書：新 高校の数学Ⅱ (出版社:数研出版)

教科 数学

の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を理解し、数学的な表現を適切に用いる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 数学的な見方・考え方を身に付け、事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする力を養うこと。数学的根拠に基づいて判断する力や、考えを論理的に表現する力を育成すること。

【学びに向かう力、人間性等】 数学的活動の楽しさや数学的な見方・考え方の良さを感じ、主体的に数学を学ぼうとする態度を養うこと。数学を活用して考えをみがぐ力や、粘り強く取り組む態度を育てること。

科目 数学Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。	問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したり、事象を数学的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	三角関数 ・角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。	・三角比 ・一般角 ・三角関数	【知識・技能】 ・三角関数の相互関係を利用して、三角関数の1つの値から残りの2つの値を求めることができる。 ・三角関数の値を、三角関数の定義によって求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・一般角を動径とともに考察することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・三角関数の値をこれまでに学習した三角比の値との関係から求めようとする。	○	○	○	12
	定期考査 考査返却			○	○		2
	三角関数 ・角の概念を一般角まで拡張して、三角関数に関する様々な性質や式とグラフの関係について多面的に考察できるようにする。	・加法定理 ・いろいろな公式 ・三角関数のグラフ	【知識・技能】 ・加法定理を利用して、三角関数の値を求めることができる。 ・2倍角の公式を利用して、三角関数の値を求めることができる。 ・三角関数の合成について理解している。 【思考・判断・表現】 ・有名角以外の三角関数の値を加法定理を用いて求める方法を考察することができる。 ・有名角以外の角を有名角同士の和や差によって表現することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・加法定理から、2倍角の公式を導こうとする。 ・三角関数の積や和のグラフとサインカーブの関係性に興味をもち、多面的に考察しようとしている。	○	○	○	10
	定期考査 考査返却			○	○		2

2 学 期	<p>微分法</p> <ul style="list-style-type: none"> 関数の極限の考えを導入し、微分係数の概念とその図形的な意味を理解できるようにする。 微分係数や導関数の意味を理解させ、その計算をできるようにする。 導関数の符号を調べることによって、関数の値の増減や極値を求め、その関数のグラフがかけられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 関数の表し方 平均変化率 極限値の考え 微分係数 導関数 微分係数と接線の傾き 接線の方程式 関数の値の増減と導関数の符号の関係 増減表 関数の極大・極小 3次関数のグラフ 関数の最大値と最小値 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができる。 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解できる <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関数とその導関数との関係について考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>微分係数に着目し、日常の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察しようとする。</p>	○	○	○	12
	定期考査 考査返却			○	○		2
	<p>微分法</p> <ul style="list-style-type: none"> 関数の極限の考えを導入し、微分係数の概念とその図形的な意味を理解できるようにする。 微分係数や導関数の意味を理解させ、その計算をできるようにする。 導関数の符号を調べることによって、関数の値の増減や極値を求め、その関数のグラフがかけられるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 関数の表し方 平均変化率 極限値の考え 微分係数 導関数 微分係数と接線の傾き 接線の方程式 関数の値の増減と導関数の符号の関係 増減表 関数の極大・極小 3次関数のグラフ 関数の最大値と最小値 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 微分係数や導関数の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の導関数を求めることができる。 導関数を用いて関数の値の増減や極大・極小を調べ、グラフの概形をかく方法を理解できる <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関数とその導関数との関係について考察することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>微分係数に着目し、日常の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察しようとする。</p>	○	○	○	12
定期考査 考査返却			○	○		2	
3 学 期	<p>積分法</p> <ul style="list-style-type: none"> 不定積分の概念とその計算法を理解できるようにする。 定積分の意味を理解させ、その計算をできるようにするとともに、曲線や直線で囲まれた部分の面積を求められるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 不定積分 条件が与えられた時の積分定数の決定 定積分 定積分と面積 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不定積分及び定積分の意味について理解し、関数の定数倍、和及び差の不定積分や定積分の値を求めることができる。 曲線や直線で囲まれた部分の面積を求められるようにする。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 不定積分の定義から、微分と積分の関係について考察できる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定積分の考え方を用いて、身近な課題を解決しようとする。 	○	○	○	14
	定期考査 考査返却			○	○		2
							合計
						70	

福生 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 理科 科目 地学基礎

教科： 理科 科目： 地学基礎 単位数： 2 単位
 対象学年組： 第 1 学年 1 組
 教科担当者：
 使用教科書： （ 第一学習社 高等学校 地学基礎 ）
 教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 地学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
観察、実験などを通して地学的な事物・現象に関する基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。地学的な事物・現象に関する観察、実験の技能を習得するとともに、それらを科学的に探究する方法を身に付けている。	地学的な事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行うとともに、事象を裏証的、論理的に考えたり、分析的・総合的に考察したりして、問題を解決し、事実にもとづいて科学的に判断したことを、言語活動を通じて表現する。	地学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 地球のすがた 第1節 地球の概観 ・地球の形と大きさについて、関連する歴史や、エラトステネスの測定法による地球の大きさの求め方を学習する。 ・地球の形や大きさについて学習する。 ・地球の層構造を学習し、表面と内部の性質の違いを理解する。 ・地殻や核を構成する物質の違いについて学習する。	1.地球の形と大きさ 2.地球の形の特徴と大きさ 3.地球の内部構造 4.地球内部の動き	(1) エラトステネスによる測定をもとに、計算によって地球の大きさを求めることができる。 (2) 地球の形と大きさの測定の歴史について意欲的に学習しようとしている。 (3) 地球楕円体、緯度1°あたりの経線の長さの測量について理解し、知識を身に付けている。 (2) 地形図を利用した実習を通して、地球の形について考察することができる。 (3) 地球の形や大きさについて意欲的に学習しようとしている。 (1) 地球の層構造(地殻・マントル・外核・内核)と、各層の特徴を理解し、知識を身に付けている。 (2) 地球を構成する元素を示すグラフを判読し、地球内部の構成物質の違いについて考察することができる。 (3) 岩石と鉄の密度の比較を通して、地球内部の各層の密度の違いについて考察することができる。 (4) 地球内部の層構造や各層を構成する物質の違いに関心をもち、地球内部のなりたちを意欲的に探究しようとしている。 (1) 地球内部の構成物質の違いによる区分とかたさによる区分の違い、ブルームについて理解し、知識を身に付けている。 (2) 地球内部の動きに関心をもち、意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	8
第1章 地球のすがた 第2節 プレートの運動 ・プレートの分布と運動について学習する。 ・プレートの境界の特徴について学習する。 ・断層の形式と褶曲について学習する。 ・変成作用と変成岩について学習する。 ・大地形の形成とプレートテクトニクスについて学習する。	1.プレートの分布と運動 2.プレートの境界 3.地殻の変動と地質構造 4.変成作用 5.大地形の形成	(1) プレートの分布や種類、プレートの動き、大陸移動説について理解し、知識を身に付けている。 (2) ハワイと日本の距離の変化のグラフを判読し、プレートの運動について考察することができる。 (3) プレートの分布と運動について関心をもち、意欲的に学習しようとしている。 (1) 3種類のプレートの境界の特徴を理解し、知識を身に付けている。 (2) プレートの境界で形成される大地形について、プレートの運動との関連を考察することができる。 (3) プレートの境界について関心をもち、意欲的に学習しようとしている。 (1) 断層の種類や褶曲について、形成される条件などの特徴を理解し、知識を身に付けている。 (2) 地殻変動について、プレートの運動に関連させて考察することができる。 (3) 地層モデルを用いた実験を通して、断層が形成される状況について考察することができる。 (4) 断層の形式と褶曲について関心をもち、地殻の変動のようすを解明する方法を意欲的に習得しようとしている。 (1) 広域変成作用と接触変成作用の違いを理解し、知識を身に付けている。 (2) 変成作用と変成岩について関心をもち、プレートの運動と関連させて、意欲的に学習しようとしている。 (1) 造山帯の形成、大陸地殻の形成・成長の過程を理解し、知識を身に付けている。 (2) プレートテクトニクスという概念を理解し、地殻の変動について、プレートの運動によって説明することができる。 (3) 大地形の形成とプレートテクトニクスについて関心をもち、地殻変動とプレートの運動との関係について意欲的に学習しようとしている。	○	○	○	13
定期考査・テスト返却			○	○		2
第2章 地球の活動 第1節 地震 ・地震の発生と分布の特徴について学習する。 ・地震波や震源の決定方法について学習する。 ・日本付近で発生する地震の分布と種類について学習する。 第2章 地球の活動 第2節 火山活動 ・世界および日本の火山の分布について学習する。 ・火山の形成について学習する。 ・火山噴出物と火山の噴火について学習する。 ・火山の形について学習する。 ・火成岩の産状と組織、火山岩と深成岩の違いについて学習する。 ・火成岩のおもな造岩鉱物の特徴を学習し、火成岩の分類について理解する。	1.地震の発生と分布 2.地震波の伝わり方 3.日本付近で発生する地震① 4.日本付近で発生する地震② 1.火山の分布 2.火山の形成とマグマ 3.火山の噴火 4.火山の地形 5.火成岩の形成 6.火成岩の種類	(1) 地震の発生と分布の特徴について理解し、知識を身に付けている。 (2) 世界の地震分布に関する資料を判読し、地震の分布の特徴を、地下のプレートと関連させて見いだすことができる。 (1) 地震波や大森公式について理解し、知識を身に付けている。 (2) 大森公式を利用して、初期微動継続時間から震源距離を求めることができる。 (3) 地震波や大森公式に関心をもち、地震のおこるしくみについて意欲的に探究しようとしている。 (1) 日本付近の地震の分布と種類を理解し、知識を身に付けている。 (2) 日本付近の地震分布に関する資料を用いた実習を通して、地震の分布と地下のプレートとの関連を考察することができる。 (1) 世界の火山分布と日本の火山分布の資料から、マグマの発生する場所について、地下のプレートと関連させて考察することができる。 (1) 火山の形成過程について、地下のプレートと関連させて理解し、知識を身に付けている。 (1) 噴火のしくみ、火山噴出物の種類、噴火の様式とマグマの性質の関係について理解し、知識を身に付けている。 (2) 肉眼および双眼顕微鏡による火山灰の観察から、もともとなったマグマの性質を考察することができる。 (3) 火山噴出物と火山の噴火に関心をもち、火山活動について意欲的に学習しようとしている。 (1) 火山の形の特徴とマグマの性質との関係を理解し、知識を身に付けている。 (2) マグマの性質と噴火の様式や火山の形を示す表から、実際の火山について、その形とマグマの性質の関連を考察することができる。 (3) 火山の形に関心をもち、火山活動について意欲的に探究しようとしている。 (1) 火成岩は、産状によって鉱物の形や組織が異なることを理解し、知識を身に付けている。 (2) 火成岩の組織の観察から、鉱物の形の特徴を見いだすことができ、火山岩や深成岩に分類できる。 (3) 火成岩の産状、火山岩と深成岩の違いに関心をもち、火成岩のなりたちを意欲的に学習しようとしている。 (1) 火成岩のおもな造岩鉱物、火成岩の分類、偏光顕微鏡による造岩鉱物の特徴を理解し、知識を身に付けている。	○	○	○	12
定期考査・テスト返却			○	○		2

福生 高等学校 令和8年度(2学年用) 教科 理科 科目 生物基礎

教科: 理科 科目: 生物基礎 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第 2 学年 1 組
 教科担当者:
 使用教科書: (第一学習社 高等学校 新生物基礎)
 教科 理科 の目標:

- 【知識及び技能】 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

科目 生物基礎 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1. 生物の共通性 ・地球上のさまざまな環境には、多種多様な生物が生息しており、生物は多様であることを理解する。 ・藻類、菌類、細菌の観察結果から、すべての生物のからだは細胞からなることを見だし、生物が共通にもつ特徴を理解する。 ・脊椎動物の系統樹から、生物に共通してみられる特徴は、進化の過程で共通祖先から受け継がれてきたものであると考察できる。 ・共通の祖先が進化の過程を経て、生物が多様化したことを理解する。 ・原核細胞と真核細胞でそれぞれみられる特徴を理解する。また、真核細胞において、核・細胞膜・細胞質基質・ミトコンドリア・葉緑体・液胞・細胞壁の機能の概要を理解する。 ・現生生物の共通祖先について、推測される特徴を理解する。	・さまざまな生物の観察 ・細胞構造の共通性	【知識及び技能】 ・顕微鏡を用いて観察を正しく行うことができる。さらに、ミクロメーターを用いて観察物の大きさを測定することができる。 ・生物は多様でありながらも共通した特徴がみられることを理解している。さらに、すべての生物に共通する特徴を説明できる。さらに、ウイルスが生物とみなされない理由を説明することができる。 ・生物に共通してみられる特徴は、共通祖先から受け継いだものであることを理解している。さらに、脊椎動物の各グループにのみ共通する特徴についても理解している。 ・進化と適応および系統との関係について理解している。さらに、適応の例を示すことができる。 ・原核細胞、動物細胞、植物細胞それぞれの細胞の構造とその働きを理解している。さらに、真核生物は原核生物から進化したことを、細胞構造と関連づけて理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・顕微鏡観察をもとに、細胞の形態的な特徴や大きさの違いを表現できる。さらに、結果をスケッチなどで表現することができる。 ・顕微鏡観察を行う際に、仮説を立てることができる。さらに、観察結果にもとづいて、自らの立てた仮説を検証することができる。 ・脊椎動物の各グループに共通する特徴が、進化の過程のどの時点で現れたかを推測することができる。さらに、これにもとづいて、生物に共通する特徴は共通祖先から受け継いだものであることを推測することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生物にみられる共通性の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。 ・生物の共通性の中核、細胞構造の共通性の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。	○	○	○	8
2. 生物とエネルギー ・光エネルギーがなければ植物は生き続けることができないことを示した資料から、生命活動にエネルギーが必要であることを理解する。 ・代謝には同化と異化があること、また、代謝に伴うエネルギーの移動にはATPが関わっていることを理解する。 ・代謝におけるATPの役割を資料から読み取ることができる。 ・酵素の基本的な特徴について理解する。 ・肝臓片に含まれるカタラーゼを用いて実験を行い、酵素の触媒作用を確認する。 ・光合成は、光エネルギーによってATPをつくり、このエネルギーによって有機物を合成する過程であることを理解する。 ・呼吸は、酵素の働きによって有機物が段階的に分解されてエネルギーが取り出され、ATPがつけられる過程であることを理解する。	・エネルギーと代謝 ・代謝とATP ・代謝と酵素 ・光合成と呼吸	【知識・技能】 ・同化と異化を、エネルギーの流れと関連付けて理解している。さらに、それぞれの代表例をあげることができる。 ・独立栄養生物と従属栄養生物の違いを理解している。さらに、ともに同化と異化の両方を行うことを理解している。 ・ATPが、代謝でエネルギーが出入りする際の仲立ちになっていることを、その構造の特徴と関連づけて理解している。 ・酵素が触媒として働くことを理解している。さらに、その主成分がタンパク質であることを理解している。 ・酵素は特定の物質にのみ作用し、自身は変化せず繰り返し作用できることを理解している。 ・細胞小器官が独自の働きをもつことを、酵素の局在と関連づけて理解している。 ・光合成と呼吸それぞれ反応の概要を理解している。さらに、これらの反応とエネルギーの流れおよびATPの関わりを関連づけて理解している。 【思考・判断・表現】 ・明所で生育した植物と暗所で生育した植物の写真をとると、光の有無による生育の違いについて十分に説明することができ、植物の生育にはエネルギーが必要であることに気づくことができる。 ・資料をもとに、ATPが、光合成、呼吸、生命活動においてエネルギーが出入りする際の仲立ちとなっていることに気づき、説明することができる。 ・カタラーゼを用いた酵素の触媒作用を確認する実験について考察することができる。さらに、くり返し作用を検証する実験方法を立案することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・エネルギーと代謝、代謝とATPの学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。	○	○	○	13
定期考査・テスト返却			○	○		2
1. 遺伝情報とDNA ・遺伝子とDNAと染色体の関係について理解する。 ・身近な材料を用いて、DNAを抽出する。 ・DNAの塩基の相補的な結合を示した資料から、DNAの構造の特徴を見だし、DNAの基本的な構造を理解する。 ・DNAの複製の概要を示した資料から、塩基の相補性にもとづいてDNAが複製されていることに気づき、半保存的複製を理解する。 ・細胞の分裂の各過程で起こる現象を理解する。 ・タマネギの根端を用いて、細胞分裂の各段階を観察する。また、結果から、細胞周期の各時期にかかる時間を推測できる。 2. 遺伝情報とタンパク質の合成 ・体内には多種多様なタンパク質が存在し、酵素などとしてさまざまな働きをしていることを理解する。 ・タンパク質は、多数のアミノ酸が鎖状につながってできたものであることを理解する。 ・DNAの塩基配列がmRNAの塩基配列に写し取られ(転写)、これがアミノ酸配列に置き換えられる(翻訳)という流れを理解する。 ・遺伝暗号表をもとに、あるmRNAが指定するアミノ酸配列を考察できる。 ・遺伝子はゲノムの一部であることを理解する。	・染色体・DNA・遺伝子 ・DNAの構造 ・DNAの複製 ・DNAの分配 ・タンパク質の構造と働き ・遺伝子の発現とタンパク質合成 ・細胞と遺伝子の働き	【知識・技能】 ・染色体、DNA、遺伝子の関係性を理解している。さらに、形質の多くは遺伝子によって決まること、および真核生物の染色体はDNAとタンパク質からなることを理解している。 ・DNAは、塩基の相補性にもとづいて結合した2本のヌクレオチド鎖からなり、二重らせん構造をとることを理解している。さらに、ヌクレオチドとヌクレオチド鎖の構造を理解している。 ・DNAの塩基配列が遺伝情報となっていることを理解している。さらに、遺伝子ごとに塩基の教や配列順序が異なることを理解している。 ・複製されたDNAには、元のDNAの一方のヌクレオチド鎖がそのまま受け継がれていることを理解している。さらに、DNAの複製と塩基の相補性とを関連づけて理解している。 ・生物の特徴は、タンパク質の働きにもとづくことを理解している。さらに、タンパク質は、遺伝情報にもとづいてつくられることを理解している。 ・タンパク質は、多数のアミノ酸からなることを理解している。さらに、タンパク質の種類は、アミノ酸配列により決まることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・DNAの構造に関する資料から、特定の塩基どうしが対になって結合していることに気づき、自分の言葉で説明することができる。 ・DNAの複製のようすを表した資料から、塩基の相補性にもとづいてヌクレオチドが鋳型鎖に結合していくことで、DNAが半保存的に複製されることに気づき、説明することができる。 ・観察結果から、間期と分裂期の時間の長さについて考察できる。さらに、分裂期の各時期の長さについても考察できる。 ・DNAの塩基配列とタンパク質のアミノ酸配列に関する資料から、1つのアミノ酸にはDNAの3つの塩基の並びが対応することを推測することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・遺伝情報とDNAの学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。 ・DNAの複製、DNAの分配の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。 ・タンパク質の構造と働き、遺伝子の発現とタンパク質合成(1)、(2)の学習において、見通しをもって取り組んだり、学びを振り返ったりするなど、自らの考えを調整しながら理解しようとしている。	○	○	○	12
定期考査・テスト返却			○	○		2

福生 高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 理科 科目 化学基礎

教科: 理科 科目: 化学基礎 単位数: 2 単位
 対象学年組: 第 3 学年 1 組
 教科担当者:
 使用教科書: (第一学習社 高等学校 化学基礎)
 教科 理科 の目標:

- 【知識及び技能】 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 物質とその変化に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 日常生活や社会を支える身近な物質に注目し、これらの物質の性質を調べる活動を通して、物質を対象とする学問である化学の特徴について理解する。 科目の導入として、化学への興味・関心を高める。 身近な物質を取り上げ、混合物から純物質を分離したり精製したりする実験などを行い、実験における基本操作と科学的に探究する方法を身に付ける。 身近な物質を取り上げ、元素を確認する実験などを行い、単体や化合物について理解する。 粒子の熱運動と粒子間に働く力との関係により、物質の状態変化が起こることを理解する。 原子の構造および陽子、中性子、電子の性質を理解する。 元素の周期律および原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解する。 	化学と人間生活 物質の成分と構成元素 ①物質の成分 ②物質の構成元素 ③状態変化と熱運動	化学が物質やその変化を対象とする学問であることを理解している。 物質の性質を調べる活動を通して、科学的に探究する方法を身に付けている。 日常生活や社会を支える身近な物質に注目し、科学に対する興味・関心を高め、意欲的に取り組もうとする。 学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。 物質が混合物と純物質、および単体と化合物に分けられることを理解し、それらの違いを理解している。 混合物の分離や成分元素の確認などの実験を理解し、物質を探究する具体的な方法を身に付けている。 粒子の熱運動と粒子間に働く力との関係によって、状態が変化することを理解している。 原子の構造および陽子、中性子、電子の性質を理解し、知識を身に付けている。 原子の電子配置を理解し、原子番号20番までの代表的な典型元素について、簡単なモデルで表すことができる。 原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解している。 観察・実験を通して、混合物、純物質、単体、化合物について考察し、それぞれの特徴を説明できる。 粒子の熱運動と温度の関係や、粒子の熱運動と粒子間に働く力との関係をもとに、温度と物質の状態変化の関係を的確に表現することができる。 観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりできる。 物質に関心をもち、物質の取り扱い方を理解しようとする。 物質の構造や性質に関する事象に関心をもち、意欲的に物質を探究しようとする。	○	○	○	8
	<ul style="list-style-type: none"> 原子の構造および陽子、中性子、電子の性質を理解する。 元素の周期律および原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解する。 イオンの生成を電子配置と関連付けて理解する。 	原子の構造と元素の周期表 ①原子の構造 ②イオン ③元素の相互関係	原子の構造および陽子、中性子、電子の性質を理解し、知識を身に付けている。 原子の電子配置を理解し、原子番号20番までの代表的な典型元素について、簡単なモデルで表すことができる。 原子の電子配置と周期表の族や周期との関係について理解している。 イオンの生成を電子配置と関連付けて理解し、イオンの表し方やイオン化エネルギーについての知識を身に付けている。 原子の電子配置と周期表の族や周期との関係を理解し、周期性が現れる理由を的確に表現することができる。 物質の構造や性質に関する事象に関心をもち、意欲的に物質を探究しようとする。 学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	13
	定期考査・テスト返却			○	○		2
	<ul style="list-style-type: none"> イオン結合がイオン間の静電的な引力による結合であることや、イオン結合でできた物質の性質を理解する。 共有結合を電子配置と関連付けて理解する。 共有結合でできた物質の性質を理解する。 金属結合は自由電子が介在した結合であることを理解する。 金属結合でできた物質の性質を理解する。 	化学結合 ①イオン結合 ②共有結合 ③金属結合 ④結晶の比較 ⑤結晶と単位格子	イオン結合やイオン結合でできた物質の性質を理解し、知識を身に付けている。 共有結合を電子配置と関連付けて理解し、共有結合の表し方や配位結合についての知識も身に付けている。 電気陰性度や結合の極性を理解し、分子の極性についての知識を身に付けている。 共有結合でできた物質の性質を理解し、知識を身に付けている。 金属結合や金属結晶の性質について理解し、知識を身に付けている。 イオン結晶の性質をイオンやイオン結合にもとづいて説明できる。 分子の極性を電気陰性度や結合の極性、分子の形をもとに総合的に判断できる。 観察・実験を通して、分子の極性と分子からなる物質の性質の関係を考察し、表現できる。 金属結晶の性質を金属結合にもとづいて的確に表現できる。 物質の性質を調べる実験を通して、化学結合と結晶の性質の関係を考察できる。 観察・実験の過程から、自らの考えを導き出した報告書を作成したり、発表したりできる。 物質に関心をもち、物質の取り扱い方を理解しようとする。 物質の構造や性質に関する事象に関心をもち、意欲的に物質を探究しようとする。 物質が原子・分子・イオンなどの構成粒子から成り立っていることを理解しようとする。 学習課題に対して積極的に観察・実験を行い、意欲的に探究しようとする。	○	○	○	12
定期考査・テスト返却			○	○		2	

福生 高等学校 令和8年度(4学年用) 教科 理科 科目 物理基礎

教科: 理科 科目: 物理基礎 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 4 学年 1 組

教科担当者:

使用教科書: (第一学習社 高等学校 物理基礎)

教科 理科 の目標:

【知識及び技能】 物体の運動について理解するとともに、観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 物体の運動と様々なエネルギーに主体的に物体の運動と様々なエネルギーに主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理基礎 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> 物体の変位や速度などの表し方について、直線運動を中心に理解する。 直線上を運動している物体の合成速度や相対速度を考えることができる。 物体の加速度を理解し、等加速度直線運動について式やグラフで考えることができる。 	第1節 物体の運動 ①速度 ②加速度	変位、速度、加速度の基本的な物理量の定義を理解し、それぞれを式で表すことができる。 速度の合成や、相対速度に関する現象を観察し、それぞれを式で表すことができる。 等加速度直線運動の特徴を踏まえ、関係式を導くことができる。 記録タイマーの使い方を理解し、得られた打点結果から加速度を求めることができる。 落下する物体の運動は、鉛直下向きの加速度をもつ等加速度運動であることを理解する。 x-tグラフやv-tグラフから、物体の位置や速度を的確に読み取ることができる。 変位、速度、加速度の違いを理解し、それぞれの関係を式で表し、求めることができる。 物体の位置と時間などの関係をもとに、x-tグラフやv-tグラフ、a-tを描くことができる。 変位、速度、加速度を用いて、さまざまな物体の運動を説明することができる。	○	○	○	8
	<ul style="list-style-type: none"> 物体が空中を落下するときの運動を調べ、その特徴を理解する。 自由落下や鉛直投射について、式やグラフを用いて考えることができる。 	③落下運動	落下運動の特徴を理解し、式やグラフを用いて表現できる。 身のまわりの物体の運動に関心を示し、位置や変位、速度を理解しようとする。 速度が変化する日常での事象について意欲的に考え、加速度とはどのような物理量であるかを考察しようとする。 斜面を下る力学台車の加速度の測定など、積極的に実験に取り組んでいる。 物体が落下するときのようすなどに関心をもち、それらの現象を物理的に考えようとする。	○	○	○	13
	定期考査・テスト返却			○	○		2
	<ul style="list-style-type: none"> 物体にさまざまな力がはたらくことを理解する。 物体にはたらく力の合成・分解をベクトルを用いて扱い、つりあいについて理解を深める。 作用・反作用の法則を扱い、つりあう2力との違いを理解する。 運動の3法則について、観察や実験を通して理解する。 運動方程式の立て方について学習し、さまざまな運動状態における運動方程式の立て方を理解する。 摩擦力の特徴を理解し、それを含めた運動について理解する。 水圧と浮力の関係について理解する。 	力と運動の法則 ①さまざまな力 ②力の合成・分解とつりあい ③運動の3法則 ④運動方程式の利用 ⑤摩擦力を受ける運動 ⑥液体や気体から受ける力	力の表し方とともに、さまざまな力のはたらき方を理解する。 質量と重さの違いを理解し、重力、弾性力を計算することができる。 力の合成・分解を踏まえ、力のつりあいを考えることができる。 ばねばかりを用いて、はたらく力の大きさを測定できる。 作用・反作用とつりあう2力とを区別することができる。 さまざまな運動状態における物体について、運動方程式を立てることができる。 摩擦力や空気抵抗を含めた運動について、運動方程式を立てて考察することができる。 力のベクトルの性質を踏まえ、つりあいの式を考えることができる。 つりあう2力と作用・反作用の2力の違いを説明できる。 さまざまな状態にある物体について、はたらく力を図示することができる。 日常での経験と照らし合わせて力のはたらきを観察し、物理的に理解しようとする。 力のつりあいや作用・反作用の法則を確認する実験などに意欲的に取り組んでいる。 力と質量と加速度の間にどのような関係があるかを予想し、主体的に実験に取り組んでいる。 摩擦力や浮力など、さまざまな力を含めた物体の運動について、物理的に理解しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査・テスト返却			○	○		2

福生 高等学校 令和8年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育

科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書：（大修館保健体育 701）

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。

【思考力、判断力、表現力等】 種目の特性を把握し、自己に適したプレイに努める・応援や準備片付けに努める。

【学びに向かう力、人間性等】 学習に主体的に取り組めるようにする。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
それぞれの種目をできるようにする。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができるようにする。種目に必要な技術を継続して行うことができる。	ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面でより良く、生徒各自が適切な判断をとり行動できるようにする。	学習に主体的に取り組むことができるようになる。相手や審判を尊重するなどフェアプレイを大切に行動することができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	授業のマナー・ルール等の説明と厳守させる。	オリエンテーション	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	2	
	授業のマナー・ルール等の説明と厳守させる。主体的な学ぶ姿勢。	体力テスト	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	6	
	種目に必要な技術を継続して行うことができる。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができる。仲間や相手、審判を尊重しフェアプレイを大切に行動する。	バドミントン	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	10	
	種目に必要な技術を継続して行うことができる。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができる。仲間や相手、審判を尊重しフェアプレイを大切に行動する。	卓球	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	10	
2 学期	種目に必要な技術を継続して行うことができる。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができる。仲間や相手、審判を尊重しフェアプレイを大切に行動する。	硬式テニス	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	14	
	種目に必要な技術を継続して行うことができる。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができる。仲間や相手、審判を尊重しフェアプレイを大切に行動する。	サッカー、バレーボール	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	14	
3 学期	日常生活における基礎体力を身に着けさせる。生涯にわたって継続できる運動の選択肢を増やす。	持久走（男子3キロ女子2.4キロ）	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	12	
	運動生理学の基礎知識を習得させる。生涯にわたって継続できる運動の選択肢を考える。	体育理論	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	2	
							合計	70

福生 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書：（大修館保健体育 701 ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。

【思考力、判断力、表現力等】種目の特性を把握し、自己に適したプレイに努める・応援や準備片付けに努める。

【学びに向かう力、人間性等】学習に主体的に取り組めるようにする。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
それぞれの種目をできるようにする。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができるようにする。種目に必要な技術を継続して行うことができる。	ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面でより良く、生徒各自が適切な判断をとり行動できるようにする。	学習に主体的に取り組むことができるようになる。相手や審判を尊重するなどフェアプレイを大切にして行動することができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	授業のマナー・ルール等の説明と厳守させる。	オリエンテーション ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	2	
	授業のマナー・ルール等の説明と厳守させる。主体的な学ぶ姿勢。	体力テスト ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	6	
	種目に必要な技術を継続して行うことができる。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができる。仲間や相手、審判を尊重してフェアプレイを大切にし行動する	バドミントン ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	14	
	武道の基礎である礼儀作法と受け身を習得する。仲間と協力して武道の理解を深める	武道（柔道の礼儀作法と受け身） ※男子	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	4	
	種目に必要な技術を継続して行うことができる。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができる。仲間や相手、審判を尊重してフェアプレイを大切にし行動する	バスケットボール ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	14	
2 学期	種目に必要な技術を継続して行うことができる。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができる。仲間や相手、審判を尊重してフェアプレイを大切にして行動する。	硬式テニス ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	15	
	種目に必要な技術を継続して行うことができる。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができる。仲間や相手、審判を尊重してフェアプレイを大切にして行動する。	男子：ソフトボール 女子：卓球	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	15	
	種目に必要な技術を継続して行うことができる。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができる。仲間や相手、審判を尊重してフェアプレイを大切にして行動する。	男子：サッカー 女子：バレーボール	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	15	
3 学期	日常生活における基礎体力を身に付けさせる。生涯にわたって継続できる運動の選択肢を増やす。	持久走（男子3キロ、女子2キロ） ※男女共修含む	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	12	
	運動生理学の基礎知識を習得させる。生涯にわたって継続できる運動の選択肢を考える。	体育理論	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	4	
							合計	101

福生 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科

保健体育 科目 体育

教科： 保健体育

科目： 体育

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書：（ 大修館保健体育 701 ）

教科 保健体育

の目標：

【知識及び技能】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。

【思考力、判断力、表現力等】 種目の特性を把握し、自己に適したプレイに努める・応援や準備片付けに努める。

【学びに向かう力、人間性等】 学習に主体的に取り組めるようにする。

科目 体育

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
それぞれの種目をできるようにする。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができるようにする。種目に必要な技術を継続して行うことができる。	ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面でより良く、生徒各自が適切な判断をとり行動できるようにする。	学習に主体的に取り組むことができるようにする。相手や審判を尊重するなどフェアプレイを大切に行動することができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	授業のマナー・ルール等の説明と厳守させる。	オリエンテーション	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	2	
	授業のマナー・ルール等の説明と厳守させる。主体的な学ぶ姿勢。	体力テスト	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	6	
	種目に必要な技術を継続して行うことができる。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができる。仲間や相手、審判を尊重しフェアプレイを大切に行動する。	バドミントン	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	10	
	種目に必要な技術を継続して行うことができる。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができる。仲間や相手、審判を尊重しフェアプレイを大切に行動する。	卓球	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	10	
2 学期	種目に必要な技術を継続して行うことができる。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができる。仲間や相手、審判を尊重しフェアプレイを大切に行動する。	硬式テニス	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	14	
	種目に必要な技術を継続して行うことができる。戦術やゲーム中に適切に判断し発揮することができる。仲間や相手、審判を尊重しフェアプレイを大切に行動する。	サッカー、バレーボール	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	14	
3 学期	日常生活における基礎体力を身に着けさせる。生涯にわたって継続できる運動の選択肢を増やす。	持久走（男子3キロ女子2.4キロ）	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	12	
	運動生理学の基礎知識を習得させる。生涯にわたって継続できる運動の選択肢を考える。	体育理論	出席状況・取り組む姿勢・技能の達成度等を総合的に評価する	○	○	○	2	
							合計	70

福生 高等学校 令和8年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書：（大修館保健体育 701 ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】保健について理解することができる。

【思考力、判断力、表現力等】保健的思考方について、関わる原則や概念を基に整理したり探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】主体的に関わり、保健的に探究しようとする態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
保健の発展の人間生活への貢献、身近な事柄・現象を通しての現代の関連性についての知識を身につけ、これからの保健と人間生活のあり方について理解する。保健的に探究する方法を身につける。	保健的に思考し、判断する。そこから導き出した自らの考えを的確に表現する。	保健的な視点・考察力を養うとともに、保健について主体的に学ぼうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
	事故の実態と被害の実態について理解する。事故の発生には人的要因と環境要因が関連していることについて理解する。応急手当の意義について理解する。傷病者を発見したときに、観察・確認するポイントを理解する。	事故の現状と発生要因 安全な社会の形成 交通における安全 応急手当の意義とその基本 日常的な応急手当 心肺蘇生法	関心・意欲・態度・知識・理解・出欠・定期 考査・提出物を総合的に評価する。	○	○	○	6	
2 学 期	ライフステージと健康の関連について説明できる。各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができる。思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できる。思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができる。性意識の男女差について例をあげて説明できる。性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できる。心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。	ライフステージと健康 思春期と健康 性意識と性行動の選択 妊娠・出産と健康 避妊法と人工妊娠中絶 結婚生活と健康 中高年期と健康 働くことと健康 労働災害と健康 健康的な職業生活	関心・意欲・態度・知識・理解・出欠・定期 考査・提出物を総合的に評価する。	○	○	○	12	
3 学 期	大気汚染の原因と健康の影響について理解する。大気にかかわる地球規模の健康問題について理解する。我が国における医療保険の仕組みを理解する。さまざまな医療機関の役割を理解する。健康の保持増進のための環境づくりについて理解する。環境づくりの主体的な参加が自他の健康づくりにつながることを理解する。	大気汚染と健康 水質汚濁、土壌汚染と健康 環境と健康にかかわる対策 ごみ処理と上下水道の整備 食品の安全性 食品衛生にかかわる活動 保健サービスとその活用 医療サービスとその活用 衣料品の制度とその活用 様々な保健活動や社会的対策 保健に関する環境づくりと社会参加	関心・意欲・態度・知識・理解・出欠・定期 考査・提出物を総合的に評価する。	○	○	○	12	
							合計	30

福生 高等学校 令和8年度（2学年用）教科

芸術

科目 音楽Ⅱ

教科：芸術

科目：音楽Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書：（ 高校生の音楽Ⅱ（教育芸術社） ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】音楽に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深め、表現意図を音楽で表すために必要な技能を身に着ける

【思考力、判断力、表現力等】音楽に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、音楽の表現内容を解釈する。

【学びに向かう力、人間性等】主体的に音楽に関する専門的な学習に取り組み、音楽文化の継承・発展・創造に寄与する。

科目 音楽Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
音楽に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深める	音楽に関する専門的な知識や技能を働かせ、音楽の表現内容を解釈する。	主体的な音楽に関する専門的な学習に取り組み、音楽文化の継承・発展・創造に寄与する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現				評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			歌	器	創	鑑賞					
2 学 期	単元 器楽と鑑賞	ギター「喜びの歌」 ギター「故郷」 ギター「星に願いを」		○	○		【知識・理解】 器楽の内容表現について理解を深める 【思考力・判断力・表現力】 音楽性豊かな表現について考え、表現意図を明確にもつことができる。 【学びに向かう力・人間性等】 音楽性豊かな表現を追求する態度を養う。	○	○	○	28
	単元 器楽と鑑賞	キーボード「エーデルワイス」 「古時計」 「おもちゃのマーチ」		○	○		【知識・理解】 器楽の内容表現について理解を深める 【思考力・判断力・表現力】 音楽性豊かな表現について考え、表現意図を明確にもつことができる。 【学びに向かう力・人間性等】 音楽性豊かな表現を追求する態度を養う。	○	○	○	30
	単元 器楽と鑑賞	キーボード「エリーゼのために」		○	○		【知識・理解】 器楽の内容表現について理解を深める 【思考力・判断力・表現力】 音楽性豊かな表現について考え、表現意図を明確にもつことができる。 【学びに向かう力・人間性等】 音楽性豊かな表現を追求する態度を養う。	○	○	○	20
3 学 期											
										合 計	78

福生 高等学校 令和8年度（2学年用）教科

芸術 科目 美術Ⅱ

教科：芸術

科目：美術Ⅱ

単位数：2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組

教科担当者：

使用教科書：（ 高校生の美術Ⅱ（日文） ）

教科 芸術

の目標：

【知識及び技能】美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深め、独創的・創造的に表すことができるようにする

【思考力・判断力・表現力等】美術に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考力・判断力・表現力等を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の継承・発展・創造に寄与する。

科目 美術Ⅱ

の目標：

【知識及び技能】	【思考力・判断力・表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
美術に関する専門的で幅広く多様な内容について理解を深め、独創的・創造的に表すことができるようにする	美術に関する専門的な知識や技能を総合的に働かせ、創造的な思考力・判断力・表現力等を育成する。	主体的に美術に関する専門的な学習に取り組み、感性を磨き、美術文化の継承・発展・創造に寄与する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			絵 ・ 彫	デ 映							
1 学 期	オリエンテーション ことばのイメージ	アイデアスケッチ 本編の紙に書く① 本編の紙に書く② 本編の紙に書く③ 本編の紙に書く④	○			○	【知識及び技能】 色の塗り方 【思考力・判断力・表現力】 ポスターカラーを使い、独自の表現を見せる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に作品に取り組む	○	○	○	14
	砂絵	アイデアスケッチ 本編の紙に書く① 本編の紙に書く② 本編の紙に書く③ 砂をまく① 砂をまく②	○			○	【知識及び技能】 砂のまき方 【思考力・判断力・表現力】 砂絵でどれだけ独自の表現を見せたか 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に作品に取り組む	○	○	○	14
2 学 期	彫刻	アイデアスケッチ 石に写す 彫る	○			○	【知識及び技能】 彫刻の技術を学び、丁寧に完成させる。 【思考力・判断力・表現力】 道具を使い、独自の表現を見せる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に作品に取り組む	○	○	○	16
	切り絵	アイデアスケッチ 切り絵版に写す 切る① 切る② 切る③ 切る④	○			○	【知識及び技能】 切り絵の技術を学び、丁寧に完成させる。 【思考力・判断力・表現力】 切り絵で独自の表現を見せる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に作品に取り組む	○	○	○	14
3 学 期	版画	アイデアスケッチ アクリル板に写す ニードルで彫る① ニードルで彫る② ニードルで彫る③ 刷る	○			○	【知識及び技能】 版画の技術を学び、丁寧に完成させる。 【思考力・判断力・表現力】 道具を使い、独自の表現を見せる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に作品に取り組む	○	○	○	14
	絵画	空想画を描く① 空想画を描く②	○			○	【知識及び技能】 空想画の技術を学び、丁寧に完成させる。 【思考力・判断力・表現力】 空想画で独自の表現を見せる 【学びに向かう力、人間性等】 意欲的に作品に取り組む	○	○	○	6
											合計
											78

都立福生高等学校定時制課程令和8年度情報Ⅱ年間指導計画

教科：情報 科目：情報Ⅱ 対象：4学年

教科担当者：（1組： ）

使用教科書：高等学校 情報Ⅱ（出版社：日本文教出版）

	指導内容		評価の観点	評価の方法	予定時数
4月	4月	オリエンテーション	今後の学習を進めるにあたり、オリエンテーションをおこなう	意欲・表現・レポート	2
		情報通信技術	PC教室内アカウントの確認と情報通信技術について知る	意欲・表現・レポート	6
5月	5月	情報技術による社会や生活の変化1	コミュニケーションやコンテンツの変化について知る	意欲・表現・レポート	6
		情報技術による社会や生活の変化2	情報セキュリティについて知る	意欲・表現・レポート	4
6月	6月	情報社会における権利と法律	情報社会に関わる様々な法律について知る	意欲・表現・レポート	4
		コミュニケーションとコンテンツ1	コンテンツ制作のプロセスを知る	意欲・表現・レポート	2
7月	7月	レポート作成	レポートを作成しこれまでの学習の成果をまとめる	意欲・表現・レポート	2
9月	9月	コミュニケーションとコンテンツ2	メディアプランニングについて知る	意欲・表現・レポート	2

		コミュニケーションとコンテンツ3	Webサイトの仕組みを知る	意欲・表現・レポート	2
		コミュニケーションとコンテンツ4	プロトタイプ作成の実習を行う	意欲・表現・レポート	2
10月	10	情報データとサイエンス1	社会における情報システムを知る	意欲・表現・レポート	4
		情報データとサイエンス2	データ収集の手法について知る	意欲・表現・レポート	2
		情報データとサイエンス3	リレーショナルデータベースを知る	意欲・表現・レポート	4
11月	11	情報システムのしくみ	社会における情報システムやの仕組みについて知る	意欲・表現・レポート	2
		システム開発の流れ	システム設計における表現方法について知る	意欲・表現・レポート	4
12月	12	レポート作成	レポートを作成しこれまでの学習の成果をまとめる	意欲・表現・レポート	2
1月	1	個人情報保護	個人情報保護について学びそのリーフレットを作成する	意欲・表現・レポート	4
		今までのまとめ	いままでの学習のまとめをおこない、これからの学習の指針を与え	意欲・表現・レポート	2

福生高等学校 令和8年度 教科 商業 科目ビジネス基礎 年間授業計画

教科：商業 科目：ビジネス基礎 単位数：2単位

対象学年組：第4学年1組

教科担当者：(1組：) (O組：) (O組：) (O組：) (O組：) (O組：)

使用教科書：(7実教 商業701 ビジネス基礎 青島矢一)

使用教材：()

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	商業の学習分野の内容や目指す能力、資格取得及び学習分野について指導する。 教材は手作りの教材(プリント)を使用する。	【知識及び技能】なぜ、商業科目を学ぶことが大切なのか、基礎的・基本的な知識を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】商業の学習分野と進路のかかわりを踏まえた学び方について、様々な角度から考察し、進路実現に向けての判断をさせる。 【学びに向かう力、人間性等】様々な資料を活用して、客観的に把握させる。	【知識及び技能】進路のかかわりを踏まえた学び方について、学習と進路の結びつきの大切さを考える。 【思考力、判断力、表現力等】進路のかかわりを踏まえた学び方について、関心を持たせ、調べさせる。 【主体的に学習に取り組む態度】商業の資格取得の知識を知り、自らの進路実現に向けての計画を具体的に設計することが出来る。	4
5月	経済を支える仕組みや経済主体の関係に関する知識を前提に理解している。	【知識及び技能】家計・企業・財政の関係について基礎的・基本的知識を身に付け、ビジネスの意義について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】ビジネスとは何か、経済とどのような関係なのかについて、様々なビジネスの例をあげながら考えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】ビジネスの役割について、事例をあげながらその共通点をまとめて説明することが出来るように指導する。	【知識及び技能】生産・流通・消費という経済を支える仕組みを経済主体としての家計・企業・財政の関係について基礎的・基本的知識を身につけさせる。 【思考力、判断力、表現力等】経済を取り巻く環境の変化とビジネスの発展について説明することが出来る。 【主体的に学習に取り組む態度】ビジネスの諸活動を主体的・合理的に行うためには、豊かな人間性や創造性が大切であることに気づき、自ら意欲的に身に付けようと努力する。	6
6月	生産と消費の隔たりを結びつける流通の機能や仕組みについて基礎的・基本的な知識を身に付けさせる。	【知識及び技能】流通とは何か、流通が果たす役割について基礎的・基本的な知識を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】流通の担い手である企業の携帯や経営組織の在り方を学ばせる。 【学びに向かう力、人間性等】流通の機能やしぐみについて様々な資料を選択的に活用し、その変化を把握し説明させる。	【知識及び技能】生産者・卸売業・小売業・金融・保険業・運輸・通信業・サービス業など流通に関するビジネスの担当者について基礎的・基本的な知識を身に付けさせる。 【思考力、判断力、表現力等】流通の担い手である企業の形態や経営組織とマーケティングに関する基礎的・基本的な知識を身に付けさせる。 【主体的に取り組む態度】生産と消費の隔たりを結びつける流通の機能や仕組みについて関心を持たせ、流通の経済的特徴や環境の変化について調べさせる。	8
7月	輸送方法の種類や小売業の種類について学ばせる。	【知識及び技能】物流業者・金融機関・保険業者・情報通信業者・小売業者のビジネス活動について学習する。 【思考力、判断力、表現力等】電子商取引の内容も同時に展開させる。 【学びに向かう力、人間性等】市場と価格の関係についても理解させる。具体的市場と抽象的市場についても学習する。	【知識及び技能】物流システムの種類・金融機関の役割と種類・保険業者や情報通信業者の役割について学ばせる。 【思考力、判断力、表現力等】仕入原価。と売価の学習内容についても理解を深める 【主体的に学習に取り組む態度】価格の自動調整機能及び需要と供給のバランス図についても理解させる。	6

9月	<p>売上の締結までの見積依頼書の作成・注文書の作成と履行する際の納品書・請求書の作成について指導する。</p>	<p>【知識及び技能】 売買契約の成立や売買契約の条件と締結と履行などの売買取引の手順について、基礎的・基本的な知識を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力 等】 売買契約に関する書類の作成について、買い手と売り手の図を用いて指導する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性 等】 見積依頼書から請求書・領収証までの作成に関する練習問題を解かせて、生徒に発問し知識の定着をはかる。</p>	<p>【知識及び技能】 売買契約の成立や売買条件及び締結と履行について様々な資料を活用して把握するとともに、売買取引の手順を正しく説明出来るように指導する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力 等】 売買契約の成立や売買契約の条件及び締結と履行など売買取引の手順についての合理性から、売買契約の意義について考察出来るように指導する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 売買契約の成立や売買取引の手順について、自ら意欲的に調べさせまとめさせる。</p>
10月	<p>小切手と約束手形・為替手形を中心に指導する。</p>	<p>【知識及び技能】 代金決済の方法について、支払用具の特色や利用方法などについて、基礎的・基本的な知識を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力 等】 代金決済の方法についてその使い分けの意味や合理性について考察出来るように指導する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性 等】 代金決済の方法について関心を持たせ、自ら意欲的に調べたりまとめられるように指導する。</p>	<p>【知識及び技能】 数の表示の方法と各種の計算について指導する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力 等】 代金決済の方法について、支払用具の特色や利用方法についてその使い分けの意味や合理性について指導する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 代金決済の方法について小切手や手形を模擬的に作成させる。</p>
11月	<p>企業活動について様々な会社組織を学習させる。</p>	<p>【知識及び技能】 様々な企業の形態を学習させる。合名会社・合資会社・合同会社・株式会社について学習する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力 等】 会社の形態の中で、無限責任と有限責任とは何かを理解させる。出資と経営の分離について学習する。株式による資金の調達や株主総会について理解させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性 等】 合名会社・合資会社・合同会社いわゆる持分会社についての例を示して、興味を持たせる。</p>	<p>【知識及び技能】 各会社組織について、出資者・出資者の責任範囲・出資と経営の分離の有無を表形式にして理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力 等】 株式について説明し、配当や株主総会のことを理解させる。協同組合について具体的な例を用いて理解させる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 それぞれの会社組織についての具体例を調べさせる。</p>
12月	<p>マーケティングとは何かを理解させる。財務諸表の役割について理解させる。企業活動の税金について理解させる。</p>	<p>【知識及び技能】 企業のマーケティング活動を学習し合わせて、財務諸表の役割や企業活動の税金についても触れる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力 等】 マーケティングの2つの考え方である消費者志向や社会利益志向について理解させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性 等】 雇用についてハローワークの仕事や意義について、関心を持たせる。</p>	<p>【知識及び技能】 マーケティングの手順やマーケティングミックスについての理解を深める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力 等】 貸借対照表や損益計算書の読み方について理解させる。特に報告式の損益計算書について理解させる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 企業活動の税金について、国税・地方税や直接税・間接税について具体例を調べさせる。</p>

1月	<p>度量衡や外国貨幣の換算の計算を最初に学習する。 割合の計算について基準量と比較量を理解させる。</p>	<p>【知識及び技能】度量衡の計算や割合に関する計算、割増や割引にかんする計算方法を学習する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力 等】割合の表示方法には少数・%・分数・歩合の4つがあることを理解させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性 等】電卓のメモリーや%キーの操作に習熟させる。</p>	<p>【知識及び技能】電卓の計算に習熟させる</p> <p>【思考力、判断力、表現力 等】教科書の計算式の意味を教え、割合の基準量の表示は1とし表現の仕方には100%・10割があることを学習する。</p> <p>【主体的に取り組む態度】全商珠算電卓実務検定試験の問題を解かせて知識の定着をはかる。</p>
----	--	--	--